

ウォシュレット® KS TCF356

washlet®

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
機能の紹介	6
各部のなまえ	7

取り付けかた	9
ご使用前の確認	26

標準的な使いかた	28
温度調節のしかた	30
脱臭のしかた	32
節電のしかた	33

お手入れの前に	37
日常のお手入れ	38
念入りなお手入れ	39
●ウォシュレット本体、便座、便ふた	39
●ウォシュレット本体と便器のすき間	41
定期的なお手入れ	41
●電源プラグ	41
●脱臭フィルター	42
●ノズル	43
●給水フィルター	43

設定を変えたいときは	45
●自動で標準の脱臭をする/しない	45
●自動でパワー脱臭をする/しない	45
●水勢ランプを点滅する/消灯する	46

凍結による破損の予防及び 長期間使わないときの処置	47
はじめの設定一覧	50
故障かな?と思ったら	51
脱臭カートリッジの取り替えかた	55
アフターサービス	56
定期点検情報	56
仕様	57
交換部品/別売品	58
定期的な点検	61



- このたびは、ウォシュレットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 定期的に交換が必要な部品があります。
詳しくは56ページ「アフターサービス」の「定期点検情報」をご覧ください。
- ◆"ウォシュレット"はTOTOの登録商標です。

商品の
お問い合わせは

TOTO(株) お客様相談室へ
TEL ☎0120-03-1010
FAX ☎0120-09-1010
受付時間: 9:00-17:00 (夏期休暇・年末年始を除く)
※携帯電話・PHSからのご利用は...093-951-2526 (有料)へ

修理のご用命は

安心・信頼の
TOTOメンテナンス(株) 修理受付センターへ
ホームページ <http://www.tom-net.jp/>
TEL ☎0120-1010-05
FAX ☎0120-1010-02
受付: 年中無休
受付時間: 8:00-19:00
訪問修理: 年中無休 (一部地域を除く)
営業時間: 9:00-18:00
※携帯電話 (PHSは除く) からのご利用は...0570-05-1010 (有料)へ

補修用品の
ご購入は

TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターへ
TEL ☎0120-8282-55
FAX ☎0120-8272-99
受付時間: 平日 9:00-18:00
土・日・祝日 10:00-18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)
※携帯電話・PHSからのご利用は...093-952-8682 (有料)へ

愛情点検

長年ご使用のウォシュレットの点検を!

	こんな症状はありませんか? ●水漏れする (配管接続部、ウォシュレット本体) ●ウォシュレット本体や便座にひびや割れが入っている ●異常な音やこげ臭いにおいがする ●電源コードを動かすと電源が切れたり入ったりする ●電源プラグや電源コードが異常に熱い ●ウォシュレット本体や操作部が異常に熱い ●その他の異常や故障がある	ご使用中止 このような症状のときは、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を開けて、必ずTOTOメンテナンス(株) 修理受付センターにご相談ください。 ※異常・故障状態のままのご使用は、火災、感電、室内浸水の原因になります。
--	---	---

この印刷用紙下データは、重慶陽がいち多数雇用企業 サンアクト TOTO (株) で作成しました。
「TOTOグループ」は障がい者雇用の推進に努力しております。

安全上のご注意

必ずお守りください。

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



絵表示の例

○は、してはいけない「禁止」の内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。

●は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
左図は、「必ず守る」を示します。



警告



水かけ禁止

ウォシュレット本体や電源プラグに水や洗剤をかけない

- 火災や感電の原因になります。



水場使用禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しない

- 火災や感電の原因になります。



分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わない

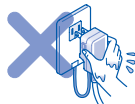
- 火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

- 感電の原因になります。



禁止

雷が発生しているときは、電源プラグに触れない

- 感電の原因になります。

故障したままでウォシュレットを使いつづけない

- 次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。

故障とは・・・

- ・配管やウォシュレット本体から水漏れしている
- ・製品にひびや割れが入っている
- ・異音、異臭がしている
- ・製品から煙がでている
- ・製品が異常に熱い

- 故障したまま使いつづけると、火災や感電、室内浸水の原因になります。

☎アフターサービスは56ページ

☎重大事故防止のためのお願いは60ページ



警告

電源コード・電源プラグや便座コードを破損するようなことはしない

傷つけない、加工しない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない、重いものを載せない、束ねない、挟み込まない、加熱しない

- 傷んだまま使用すると、火災、感電、ショートの原因になります。



ガタついているコンセントは使わない

- 火災や感電の原因になります。

指定する電源（交流100V）以外では使用しない

- 火災の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

- たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



水道水および飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない

- 皮膚の炎症などを起こす原因になります。

給水位置の真下のコンセントを使用したり、給水ホースと電源プラグ、コンセントを接触させない

- 結露水などにより、コンセントに水がかかり火災や感電の原因になります。

車輛・船舶など、移動体への設置はしない

- 火災や感電、故障などの原因になります。
- ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

逆流防止装置（バキュームブレーカー・リング）は水の安全を確保するために定期的な点検を行う

- 逆流防止装置（バキュームブレーカー・リング）が正常に機能しないと、状況によっては一度吐出した水が逆流する原因になります。

☎定期点検情報は56ページ

低温やけどに注意する

- ながい時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。
- 次のような方が暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」にしてください。

- ・お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方
- ・病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方
- ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
- ・深酒をされた方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方



必ず守る

強い力や衝撃を与えない

- ウォシュレット本体がはずれて落下し、転倒してけがをする原因になります。
- ※座動作に障がいのある方がご使用になる場合は、過剰な横荷重が加わることににより、便座がはずれて転倒しけがをすることがありますので、固定部を専用部品に取り替えてください。（有料）
- 取り替えはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターへご依頼ください。☎56ページ

電源プラグの刃などに付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む

- 火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、かわいた布でふいてください。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く

- コードを引っ張ると電源プラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。



プラグ抜き励行

お手入れのときに必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 感電の原因になります。
- ※「ノズルそうじスイッチ」機能使用時は除く



アース接続

アース（D種接地）工事がされていることを確認する

- アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。
- アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

⚠ 注意



火気禁止

たばこなどの火気類を近づけない

- 火災の原因になります。

プラスチック部分（ウォシュレット本体など）のお手入れをするときは、うすめた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない

（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー及びナイロンたわしなど）

- プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。
- 給水ホースを傷め、水漏れの原因になります。

便座・便ふたやウォシュレット本体の上に乗らない、重いものを載せない

- 割れたり、ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

便座・便ふたを持って製品を持ち上げない

- ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。

便ふたをはずした状態で便座を使用しない

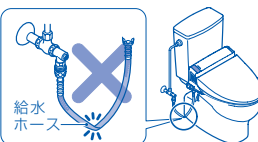
- 便座がはずれて落下し、けがをする原因になります。

止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない

- 水が噴き出します。☞給水フィルターのお手入れは43ページ

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。



施工は施工説明書に従って確実に行う

- 正しく取り付けていないと水漏れ、感電、火災の原因になります。☞取り付けかたは9ページ

長期間使用しないときは止水栓を閉めて水を抜き、電源プラグを抜く

☞水抜きのしかたは48ページ

- 再使用するときは、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になりますので、再通水してご使用ください。☞再通水のしかたは49ページ

水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める



給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める

- 確実に締めないで水漏れの原因になります。

凍結による破損の予防を行う

- 凍結すると給水配管やウォシュレット本体内部が破損して、水漏れする原因になります。
- 暖房するなどしてトイレをあたためてください。☞凍結による破損の予防は47～49ページ

はじめに

使用上のご注意

次のことをお守りください。

傷つきや破損を防ぐために！

ウォシュレット本体、便座、便ふたなどのプラスチック部分はかわいた布やトイレットペーパーなどでふかない

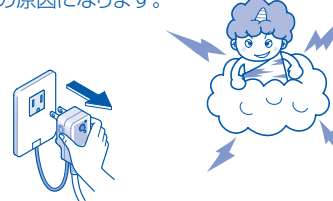
水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。☞お手入れのしかたは37ページ

便ふたに寄りかからない



落雷の可能性がある場合は…

電源プラグを抜く
故障の原因になります。



故障を防ぐために！

ウォシュレット本体やノズルに小便がかからないようにする



便ふたをはずしたまま使用しない

誤作動などを防ぐために！

着座センサーおよびリモコン送信部・受信部をおおわない

ウォシュレットが誤作動する原因になります。



❓ 着座センサーとは…

- 着座センサーは人が座ったことを検知するものです。
- 着座センサーからは図のように赤外線が出ています。
- 使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなる場合があります。

☞53ページ



ラジオなどはウォシュレットから離して使う

ラジオに雑音が入ることがあります。

直射日光が当たらないようにする

変色や暖房便座の温度ムラが生じたり、リモコンでの作動不良の原因になります。

便座の上に幼児用補助便座、やわらか補高便座などを置いて使用した場合は、使用後取りはずす

- ・一部の機能が使用できなくなることがあります。
- ・着座センサーが検知してリモコン操作を受け付けることがあります。

安全上のご注意／使用上のご注意

機能の紹介

製品名称、製品品番は便ふたの裏に記載しています。

洗浄機能

		参照ページ
おしり洗浄	おしりを洗います。	28
ビデ洗浄	女性のビデとして使えます。	28
水勢調節	水勢の強弱を調節できます。	28
ムーブ洗浄	ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。	28

快適機能

		参照ページ
暖房便座	便座をあたためます。	—
温度調節	温水、便座の温度を調節できます。	30、31
脱臭	便器内のにおいを取ります。	32
パワー脱臭	吸い込む力をアップさせて便器内のにおいを取ります。	32
オートパワー脱臭	便座から立ち上がると自動でパワー脱臭を行います。	32
リモコン	ラクな姿勢で操作できます。	8
ソフト閉止	便座・便ふたがゆっくり閉まります。	—
着座センサー	便座に座ると各機能がはたらきます。	5

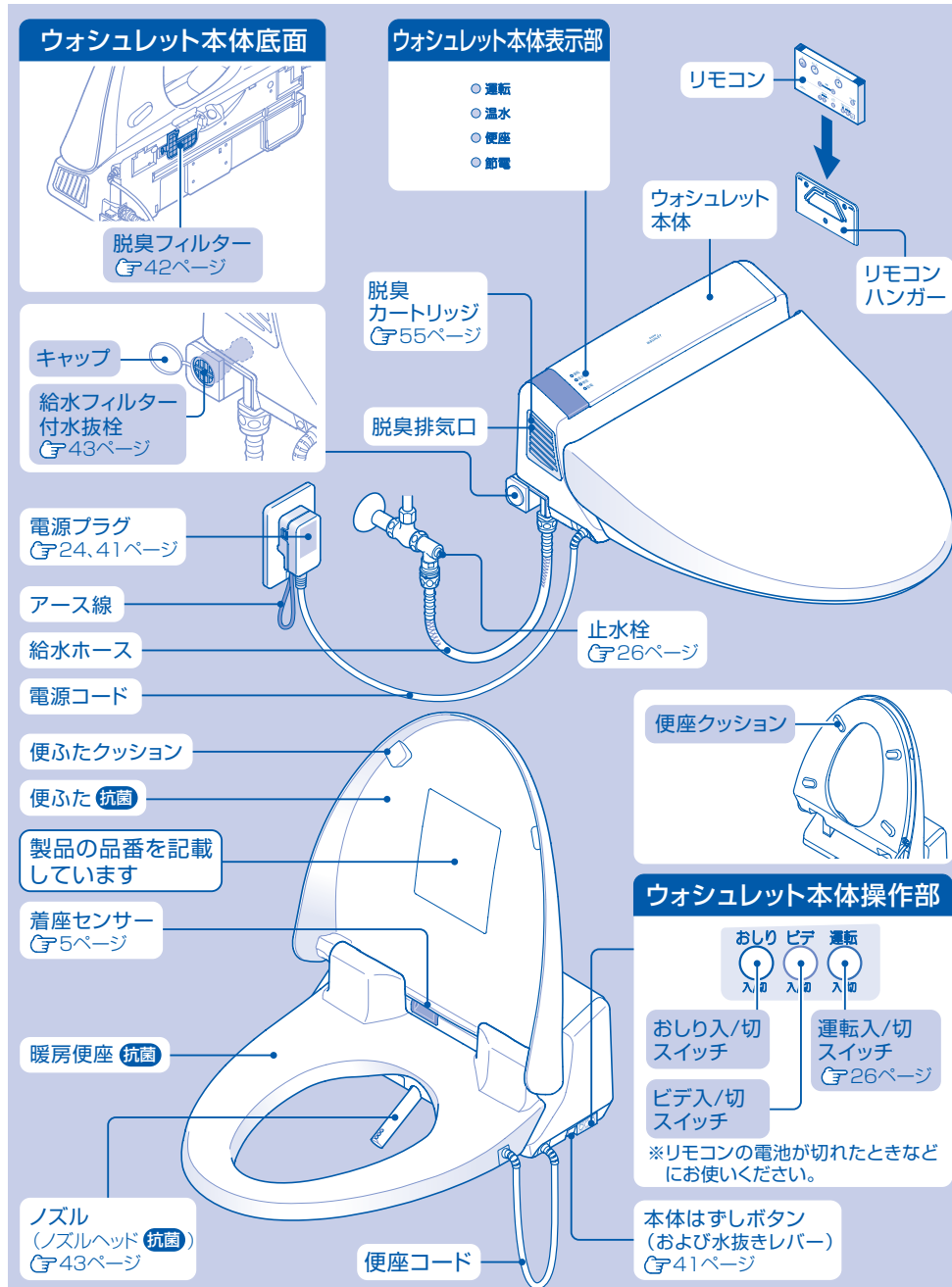
節電機能

		参照ページ
タイマー節電	一度設定すると毎日その時間に温水と便座のヒータが切れて節電します。 (節電時間は3・6・9時間のいずれかに設定できます。)	34
おまかせ節電	トイレをあまり使用しない時間帯を記憶して、自動で便座の温度を下げて節電します。	35
運転入/切スイッチ	このスイッチを「切」にすることで暖房便座などの運転を停止して、こまめな節電ができます。	7、26

清潔機能

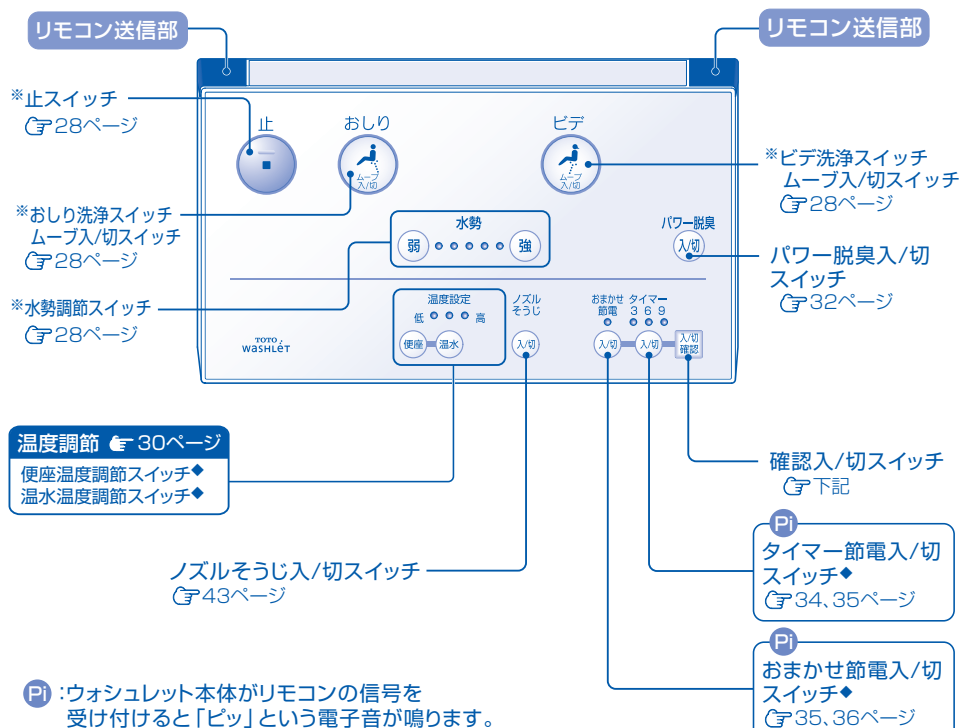
		参照ページ
便座・便ふた着脱	便座・便ふたが簡単に、取りはずせます。お掃除も簡単です。	39、40
ウォシュレット本体ワンタッチ着脱	ウォシュレット本体がワンタッチではずせます。便器の奥まで簡単にお掃除できます。	41
抗菌	便座、スイッチなど直接肌がふれやすいところに抗菌処理をしています。	7、8、57
セルフクリーニング	洗浄の前後に、ノズル先端部を自動でしっかり洗います。	—
ノズルまるごと洗浄	ノズルが伸出・収納するときに、ノズル本体をしっかりと洗います。	—
クリーンコートノズル	ノズル本体に汚れの付きにくいコーティングをしています。	—
ノズルそうじスイッチ	ノズルがお湯を出さずに伸出しますので、お掃除もラクにできます。	43

各部のなまえ



リモコン

- 目の不自由な方のために●と●に触覚記号(突起)、※部に点字を設けました。
- ◆部は一度押すと現在の設定を表示します。
- 抗菌:スイッチ、表面シートは抗菌処理をしています。



「確認入/切」スイッチについて

- 入切確認 スwitchを押すと、水勢調節・タイマー節電・おまかせ節電などの現在の設定を確認することができます。
- 設定を確認したいときにご使用ください。
- ※ランプは約5秒後に消灯します。

設定を変更したいときは…

水勢調節 ㊦28ページ
タイマー節電 ㊦34ページ
おまかせ節電 ㊦35ページ



取り付け

取り付けかた

お取り付けの前には必ずこの項をよくお読みいただき、手順に従って、正しく取り付けてください。

商品については、TOTO(株)お客様相談室
TEL ☎0120-03-1010 FAX ☎0120-09-1010にお問い合わせください。

※安全上の警告・注意及び使用上のご注意(㊦2～5ページ)を必ずお守りください。

取り付け手順

●次の手順に従って、正しく取り付けてください。

- 1 水道の元栓を開ける
- 2 便座を確認する
- 3-1 普通・暖房便座から取り替える
- 3-2 温水洗浄便座から取り替える
- 4 ベースプレートを取り付ける
- 5 ウォシュレット本体を取り付ける
- 6 給水ホースを接続する
- 7 アース線を接続する
- 8 電源プラグを確認する
- 9 リモコンを取り付ける

使用する主なもの



次の工具があれば便利です。

- ㊦ドライバー
- ハンマー
- 電気ドリル
- ドリル歯6 (鉄工ドリル、またはコンクリートドリル)
- パイプカッター (内ねじタイプの止水栓で、普通、暖房便座から取り替える場合、フレキホースを使用せず、既設の給水管を切断するときに使用します。)

同梱部品

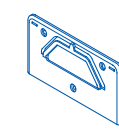
●次の部品があるかどうか確認してください。

※ウォシュレット本体や給水ホースに付いている保護キャップは取付直前にはずしてください。(ゴミなどの侵入を防止します。)

1 リモコン部品



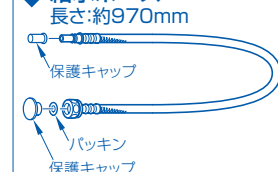
リモコン



リモコンハンガー

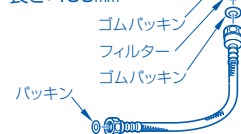
- アンカープラグ (3個)
- ねじ (3個)
- リモコン用乾電池 (単3形×2個)

2 給水ホース



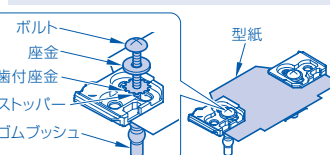
3 ロータンク接続用フレキホース

長さ:400mm



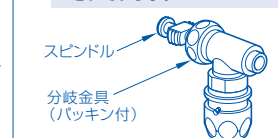
4 ベースプレート

※分解せずにこのままで便座に取り付けてください。



5 分岐金具(スピンドル付)

※スピンドルは分岐金具にセットされています。



6 分岐継手



7 便座はずし工具



8 専用スパナ



9 取扱説明書、保証書



取り付け前のご注意

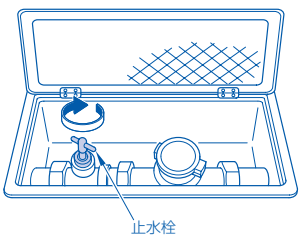
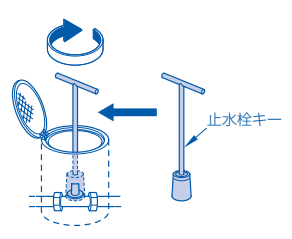
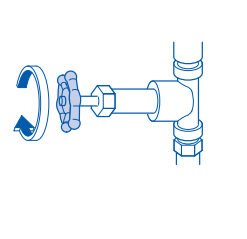
- すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットの取り付けができません。

- ①製品への通電及び通水は取付作業をすべて終わってから行ってください。
- ②便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。
温水タンクが空の状態ではヒータが入るため故障の原因になります。
- ③電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は417Wです。必ずこの電力に適した配線をしてください。
(ウォシュレット専用の配線をおすすめします。)
- ④電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- ⑤給水圧力は0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。
- ⑥給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
- ⑦給水ホースの長さは約970mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。
もし給水ホースの長さが足りない場合は、23ページ「⑥給水ホースを接続する」の④項に長い給水ホースを記載
していますので適切な長さのホースを選んでください。
お求めはTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター
TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。
- ⑧内ねじタイプの止水栓の場合や温水洗浄便座(TOTO品)からの取り替えの場合、同梱のロータンク接続用フレキホースを使用します。もし、フレキホースの長さが合わない場合は、14、18、19ページ「ロータンク接続用フレキホース(同梱品 ④)」を取り付ける」に長さ違いのフレキホースを記載していますので適切な長さのフレキホースを選んでください。
お求めはTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター
TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。
※内ねじタイプの止水栓で普通、暖房便座から取り替える場合は、フレキホースを使用せず既設の給水管を切断して使用することもできます。(P14ページ)
- ⑨フラッシュバルブ式便器への取り付けは、専門業者による取り付けが必要です。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

1 作業を始める前に水道の元栓を閉める

元栓を閉めるときは、ガス給湯機や洗濯機などの使用を止めてください。

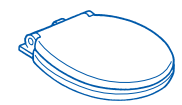
水道メーターと一体になった 元栓の場合	埋込み式の元栓の場合	マンションなどの場合
メーターボックスの止水栓を閉める 	止水栓キーなどで閉める 	玄関入口横の扉の中などにあります。 

元栓を閉めた後に、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

2 現在ご使用の便座を確認する

普通便座・暖房便座(ウォームレット)の場合

温水洗浄便座(ウォシュレット)の場合



引き続き
3-1 普通・暖房便座から取り替える
にお進みください。



3-2 温水洗浄便座から取り替える
にお進みください。

P15ページ

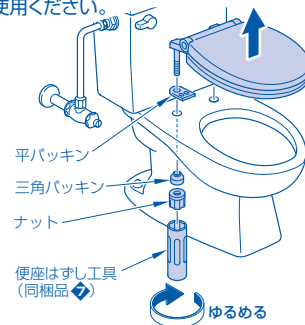
3-1 普通・暖房便座から取り替える

① 普通・暖房便座を取りはずす

※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

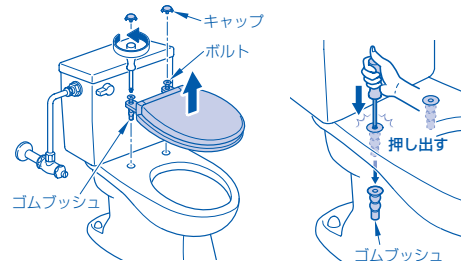
ボルトナットで便座が取り付けられている場合

便座はすし工具(同梱品 ④)でナット(左右2個)をはずし、便座を取りはずしてください。
※金属ナットがさびてゆるまないときは、市販のスプレー剤をご使用ください。



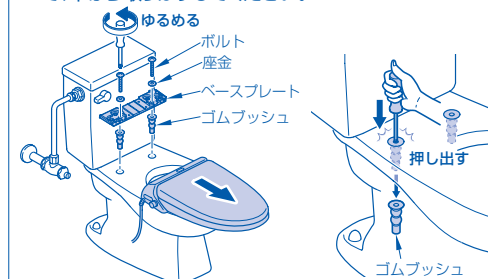
ゴムブッシュで便座が取り付けられている場合

①キャップをはずす
②ボルトを④ドライバーでゆるめてはずし、便座を取りはずす
※ゴムブッシュがはずしにくいときは、便座やボルトを取り除いた後に④ドライバーで上から押さえて、下から取りはずしてください。



ベースプレートで便座が取り付けられている場合

①本体を取りはずす
②ベースプレートのボルトを④ドライバーでゆるめて取りはずす
※ゴムブッシュがはずしにくいときは、ボルト・座金・ベースプレートを取り除いた後に④ドライバーで上から押さえて、下から取りはずしてください。

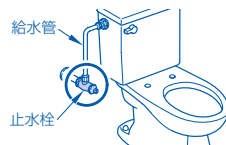


ワンピース便器に便座が取り付けられている場合

①止水栓を閉める
②タンク下側のナット(左右2個)をゆるめて便座を取りはずす
※便器の種類によっては、タンク内にナットがあります。タンクふたをはずして、ナットをゆるめて便座を取りはずしてください。



②現在ご使用の 止水栓タイプを確認する



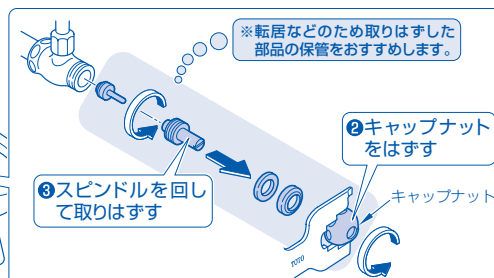
一般的な止水栓		内ねじタイプの止水栓		寒冷地の場合
【アングル形】	【ストレート形】	【アングル形】	【ストレート形】	
外径13mmの給水管 止水栓		外径13mmの給水管 止水栓	本体の内側に ねじが切っ てあるタイプ	
引き続き ③一般的な止水栓に 分岐金具を取り付ける にお進みください。		④内ねじタイプの止水栓に 分岐金具を取り付ける にお進みください。		専門業者による取り付けが必要です。 お近くの販売店またはTOTOメンテナ ンス (株) 修理受付センター TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02 にご依頼ください。

③一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける

同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

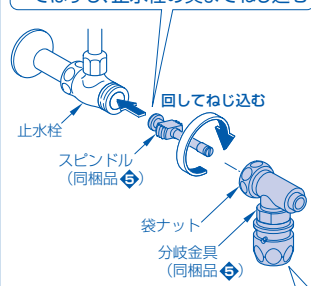
①既設止水栓の部品を取りはずす

- ①ロータンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです。)
●ロータンクに給水されない
ことを確認してください。



②分岐金具 (同梱品⑤) を止水栓に取り付ける

- ①スピンドルを分岐金具から引っ張っ
てはずし、止水栓の奥までねじ込む



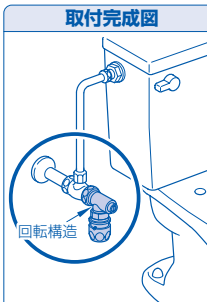
- ③分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回
転する構造になっています。



- ②スピンドルに分岐金具 (パッキン付)
を通して取り付ける

※給水ホース
接続部は下
に向ける

取付完成図



④ベースプレートを取り付けるにお進みください。

④内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける

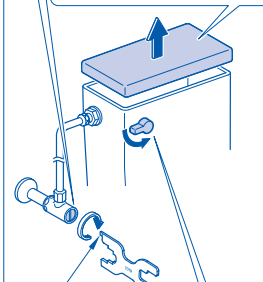
同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

①ロータンクの水を抜く

- ①止水栓をいっばい
に閉める

- ②ロータンクふたをはずす
●手洗い付きの場合は接続
ホースははずしてください。



- ③ロータンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです。)
●ロータンクに給水されない
ことを確認してください。

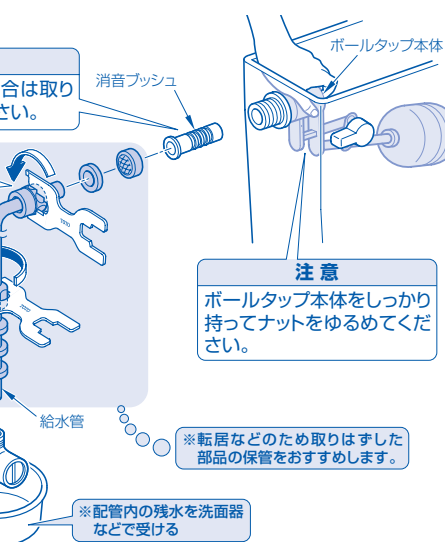
②給水管を取りはずす

- ①止水栓をいっばい
に閉める

- ②ロータンクふたをはずす
●手洗い付きの場合は接続
ホースははずしてください。

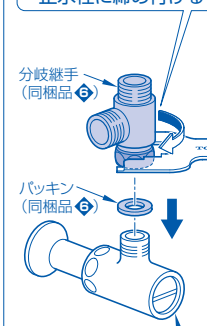


- ③ロータンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです。)
●ロータンクに給水されない
ことを確認してください。

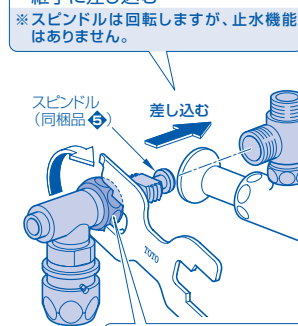


③分岐継手 (同梱品⑤) を止水栓に取り付ける

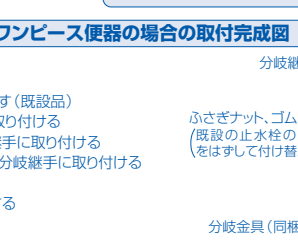
- ①分岐継手の袋ナットを
止水栓に締め付ける



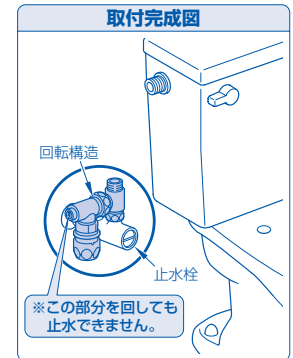
- ②スピンドルごと分岐金具を分岐
継手に差し込む
※スピンドルは回転しますが、止水機能
はありません。



- ③分岐金具の袋ナットを分岐継手に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回
転する構造になっています。



取付完成図



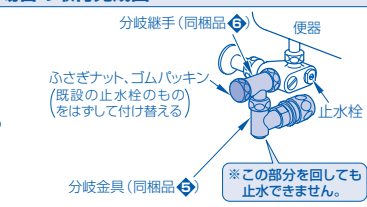
ワンピース便器の場合の取付完成図

【取付手順】

- ①止水栓を閉める
- ②ふさぎナット、ゴムパッキンをはずす (既設品)
- ③パッキンをセットして分岐継手を取り付ける
- ④分岐金具 (スピンドル付) を分岐継手に取り付ける
- ⑤②のふさぎナット、ゴムパッキンを分岐継手に取り付ける

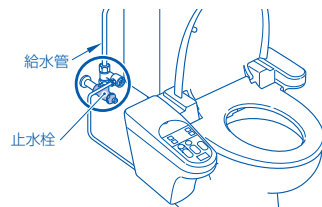
【確認】

- ⑥接続部から水漏れがないか確認する



②現在ご使用の 止水栓タイプを確認する

※製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。



一般的な止水栓		内ねじタイプの止水栓
【TOTO品】 既設給水管 既設分岐金具 【他社品】 既設給水管 既設分岐金具 ※このタイプの止水栓及び分岐金具の場合、既設給水管は取りはずさずそのまま使用できます。 他社品は ③-1 普通・暖房便座から取り替える ④一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。	④一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。	【他社品】 既設給水管 既設分岐金具 ④内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける にお進みください。

③一般的な止水栓に分岐金具を取り付ける

同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

①ロータンの水を抜く	②既設分岐金具と給水管を取りはずす
①止水栓をいっばいに閉める ②ロータンのふたをはずす ●手洗い付きの場合は接続ホースをはずしてください。 スパナ (先端は○ドライバー付き) ③ロータンの水を流す (給水管内の圧抜きです。) ●ロータンの給水されないことを確認してください。	注意 ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。 ①上下のナットをゆるめる ※転居などのため取りはずした部品の保管をおすすめします。 ②給水管を取りはずす ※配管内の残水を洗面器などで受ける ③既設分岐金具を取りはずす 注意 消音ブッシュがある場合は取り付けたまにしてください。

③分岐継手(同梱品⑤)を止水栓に取り付ける

①分岐継手の袋ナットを止水栓に締め付ける

②スピンドルごと分岐金具を分岐継手に差し込む
※スピンドルは回転しますが、止水機能はありません。

③分岐金具の袋ナットを分岐継手に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。

取付完成図

※この部分を回しても止水できません。

④ロータンク接続用フレキホース(同梱品⑤)を取り付ける

※フレキホースは接続の向きが決まっていますのでご注意ください。
(両端のナットの形状が違います。)

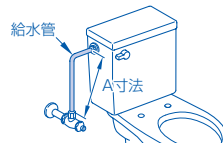
①ロータンク(ボールタップ)側のナット(大)を締め付ける

②分岐継手側のナット(小)を締め付ける

注意
●ボールタップ本体をしっかり持ってナット(大)を確実に締め付けてください。
●ボールタップ本体が傾いて取り付けられるとロータンクの給水不良や止水不良の原因になります。
●浮玉が正常に動くことを確認してください。

取付完成図

※ロータンク接続用フレキシホースの長さが合わないときは、下図のA寸法に合ったフレキシホースを右表より選んでご購入ください。
(同梱品のフレキシホースの長さは400mmです。)



A寸法 (mm)	フレキシホース長さ (mm)	品 番	希望小売価格
120~150	200	TCA61-2R	¥1,450 (税込¥1,523)
150~200	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)
200~250	300	TCA61-3R	¥1,550 (税込¥1,628)
250~400	400	同梱のフレキシホースで取り付けできます。	

●仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



📖 20ページ ④ ベースプレートを取り付ける にお進みください。

④内ねじタイプの止水栓に分岐金具を取り付ける

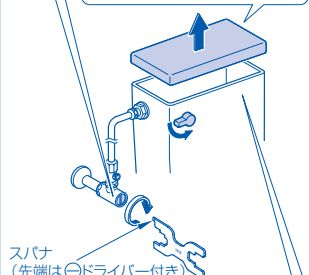
同梱品⑤の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

①ロータンクの水を抜く

①止水栓をいっばいに閉める

②ロータンクふたをはずす
●手洗い付きの場合は接続ホースをはずしてください。



③ロータンクの水を流す
(給水管内の圧抜きです。)
●ロータンクに給水されないことを確認してください。

②既設分岐金具と給水管を取りはずす

注 意

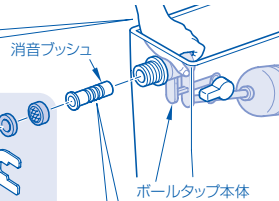
ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。

①上下のナットをゆるめる

※転居などのため取りはずした部品の保管をおすすめします。

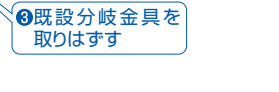
②給水管を取りはずす

※配管内の残水を洗面器などで受ける



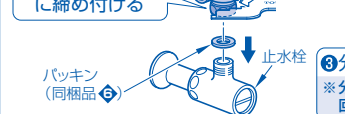
注 意

消音プッシュがある場合は取り付けたまにしてください。

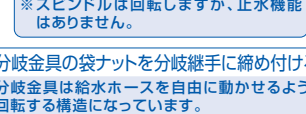


③分岐継手(同梱品⑤)を止水栓に取り付ける

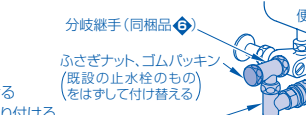
①分岐継手の袋ナットを止水栓に締め付ける



②スピンドルごと分岐金具を分岐継手に差し込む
※スピンドルは回転しますが、止水機能はありません。



③分岐金具の袋ナットを分岐継手に締め付ける
※分岐金具は給水ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。



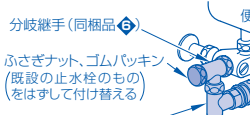
ワンピース便器の場合の取付完成図

【取付手順】

- ①止水栓を閉める
- ②ふさぎナット、ゴムパッキンをはずす(既設品)
- ③パッキンをセットして分岐継手を取り付ける
- ④分岐金具(スピンドル付)を分岐継手に取り付ける
- ⑤②のふさぎナット、ゴムパッキンを分岐継手に取り付ける

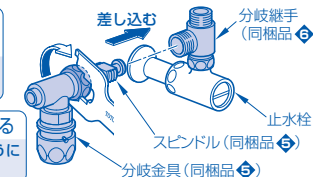
【確認】

- ⑥接続部から水漏れがないか確認する



※この部分を回しても止水できません。

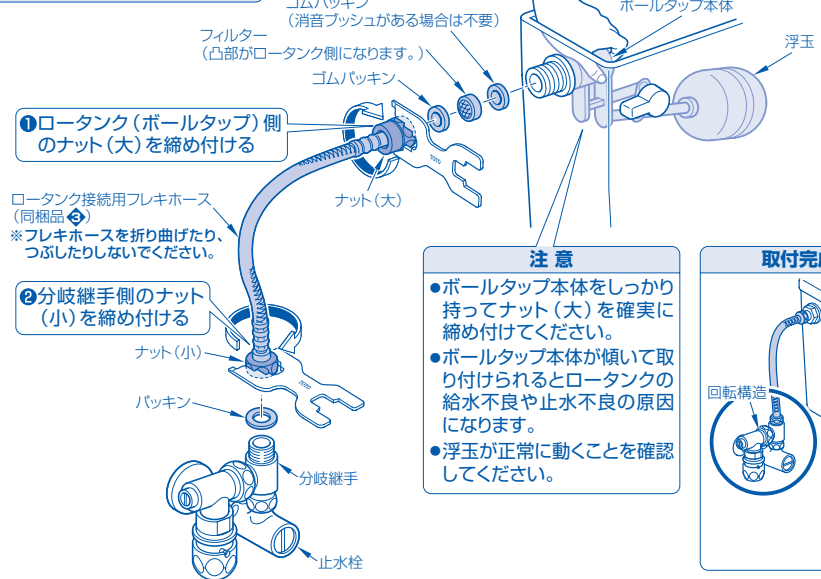
取付完成図



※この部分を回しても止水できません。

④ロータンク接続用フレキシホース(同梱品⑤)を取り付ける

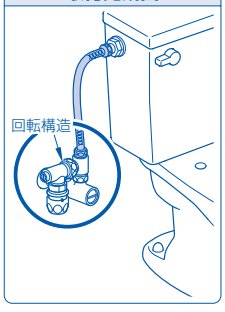
※フレキシホースには接続の向きが決まっていますのでご注意ください。
(両端のナットの形状が違います。)



注 意

- ボールタップ本体をしっかり持ってナット(大)を確実に締め付けてください。
- ボールタップ本体が傾いて取り付けられるとロータンクの給水不良や止水不良の原因になります。
- 浮玉が正常に動くことを確認してください。

取付完成図



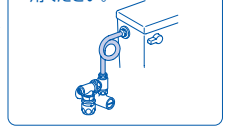
※ロータンク接続用フレキシホースの長さが合わないときは、下図のA寸法に合ったフレキシホースを右表より選んでご購入ください。
(同梱品のフレキシホースの長さは400mmです。)



A寸法 (mm)	フレキシホース長さ (mm)	品 番	希望小売価格
120~150	200	TCA61-2R	¥1,450 (税込¥1,523)
150~200	450	TCA61-1N	¥1,700 (税込¥1,785)
200~250	300	TCA61-3R	¥1,550 (税込¥1,628)
250~400	400	同梱のフレキシホースで取り付けできます。	

●仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※A寸法が150~200mmの場合は、450mmのフレキシホースをループさせてご使用ください。



📖 20ページ ④ ベースプレートを取り付ける にお進みください。

取り付けかた

4 ベースプレートを取り付ける

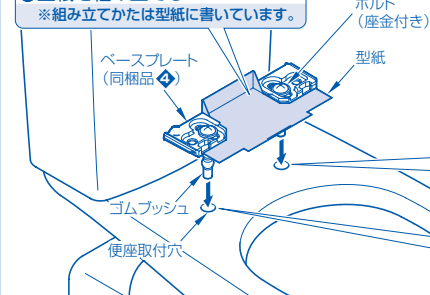
① 取付準備

① ベースプレート（同梱品④）をセットする

ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。
この型紙を用いて正しくセットしてください。

① 型紙を組み立てる

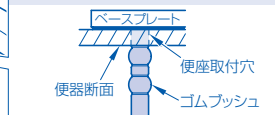
※組み立てかたは型紙に書いています。



注意
ベースプレートを分解しないでください。
万一分解された場合は右図の順番で組み付けを行ってください。

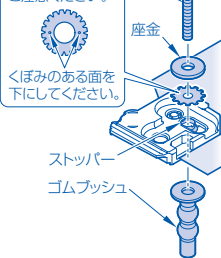
② ゴムブッシュを便座取付穴に押し込む（左右2カ所）

※ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。

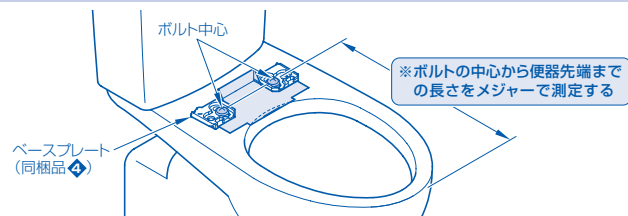


ベースプレート組付方法

歯付座金には表裏があります。ご注意ください。



② 便器のサイズを調べる



約47cm:大形サイズの便器です。

約44cm:普通サイズの便器です。

引き続き
**②大形サイズ便器の場合の
ベースプレート位置**
にお進みください。

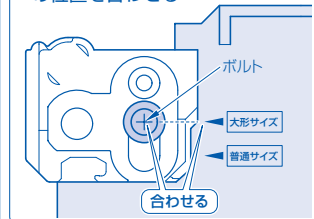
**③普通サイズ便器の場合の
ベースプレート位置**
にお進みください。

➡ 21 ページ

② 大形サイズ便器の場合のベースプレート位置

ベースプレートの位置を決める

① ボルトの中心と型紙の「大形サイズ」の位置を合わせる



ウォシュレットの背面に相当します。

ベースプレート（同梱品④）

型紙

黒線
ノズル下部の位置に相当します。

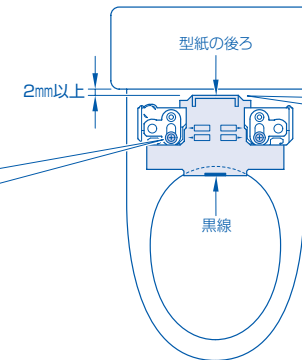
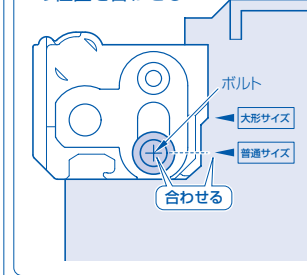
※ここにすき間があいても問題ありません。

➡ 21 ページ ④ ベースプレートを固定するにお進みください。

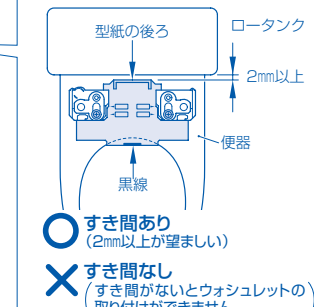
③ 普通サイズ便器の場合のベースプレート位置

ベースプレートの位置を決める

① ボルトの中心と型紙の「普通サイズ」の位置を合わせる



② ロータンクと型紙の後ろにすき間があることを確認する



○ すき間あり
(2mm以上が望ましい)

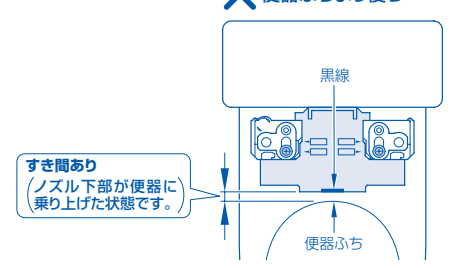
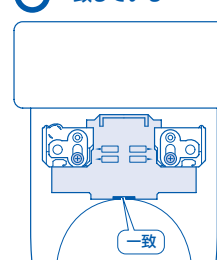
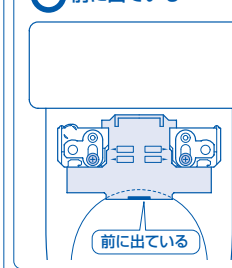
✕ すき間なし
(すき間がないとウォシュレットの取付けができません。)

③ 型紙の黒線が便器のふちより前に出ているか、または一致していることを確認する

○ 前に出ている

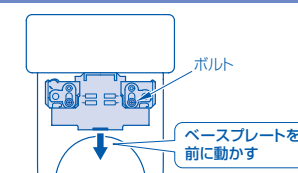
○ 一致している

✕ 便器ふちより後ろ



②③の条件が✕の場合

片方でも✕の場合は右図のようにベースプレートを動かして②、③の条件が両方○になるようにしてください。



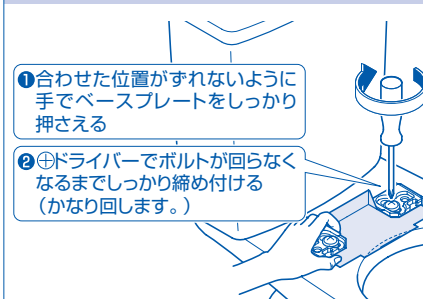
④ ベースプレートを固定する

① ベースプレートを固定する

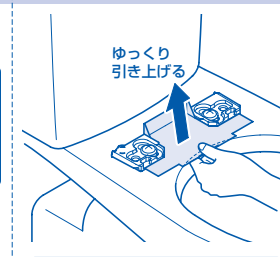
① 合わせた位置がずれないように手でベースプレートをしっかり押さえる

② ①ドライバーでボルトが回らなくなるまでしっかり締め付ける（かなり回します。）

確認
取り付け後、ベースプレートがしっかり固定されているか確認してください。



② 型紙をはずす



※転居などのため取りはずした型紙の保管をおすすめします。

5 ウォシュレット本体を取り付ける

ウォシュレット本体の取り付けかた

①ウォシュレット本体の中心と、ベースプレートの中心を合わせ「カチッ」と音がするまで押し込む

②まっすぐ取り付いているか確認する

③ウォシュレット本体を軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認する

注意

正しく取り付けなかった場合は、ウォシュレット本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。

☞20ページ ①取付準備にお戻りください。

ウォシュレット本体の取りはずしかた

ウォシュレット本体右側の本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。

本体はずしボタン（及び水抜きレバー）

※ウォシュレット本体を便器にセットしたときに、上下左右に多少ガタつきが発生します。これはウォシュレット本体ワンタッチ着脱のために、スライド部に設けられたすき間のためです。異常ではありません。

※普通サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。異常ではありません。

※便ふたを立てた状態で便ふたが倒れてくるときは、ウォシュレット本体をはずしてもう一度ベースプレートを少し前に取り付け直して、便ふたが倒れなくなるまで調整してください。

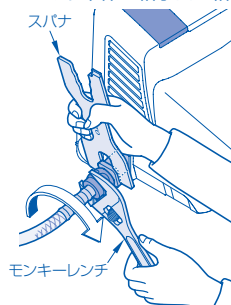
※大形サイズ便器に設置した場合でも、取付便器によっては便器先端が多少出っ張ることがあります。出っ張りが大きいときは、もう一度ベースプレートの位置を調整してください。

6 給水ホースを接続する

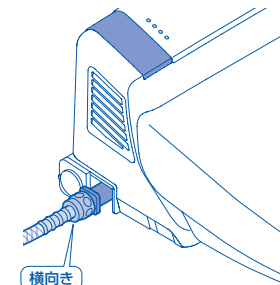
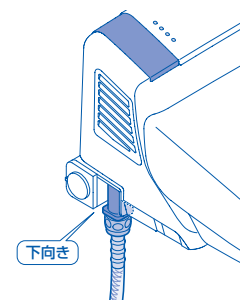
給水ホースの取り付けかた

- ウォシュレット本体をベースプレートから取りはずした状態で接続すると作業しやすくなります。
☞ウォシュレット本体の取りはずしかたは22ページ

①ウォシュレット本体の給水口に給水ホース（同梱品②）の袋ナットを締め付ける



ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。
ワンピース便器の場合は給水口を横向きにしてください。

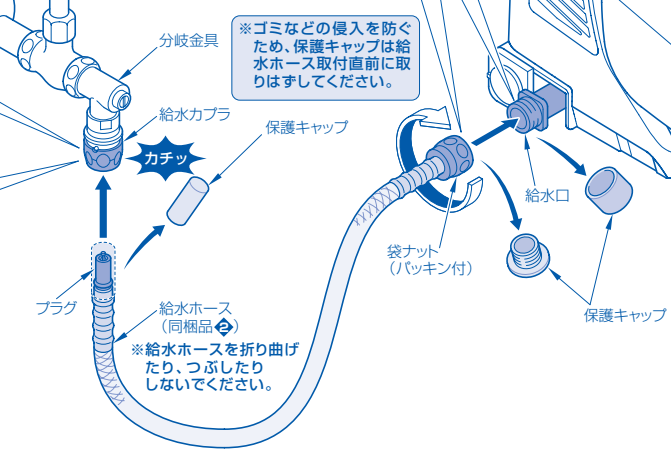
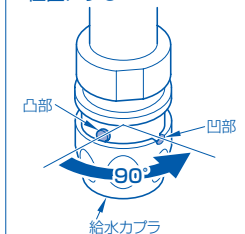


注意

給水口をスパナで固定して給水ホースを接続してください。
無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因になります。

②給水ホースのプラグ側を分岐金具の給水カブラに差し込む
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

③給水カブラを手で回して、凹部と凸部が90°ずれた位置にする



④給水ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体が着脱できる長さがあるか確認する

- ※給水ホースの長さが足りないときは、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。（同梱品の給水ホースの長さは約970mmです。）
お求めはTOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンター TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99へご連絡ください。
- ※分岐金具の給水カブラーは一時止水機能付ですが、給水ホースをはずすときは必ず止水栓を開めてください。

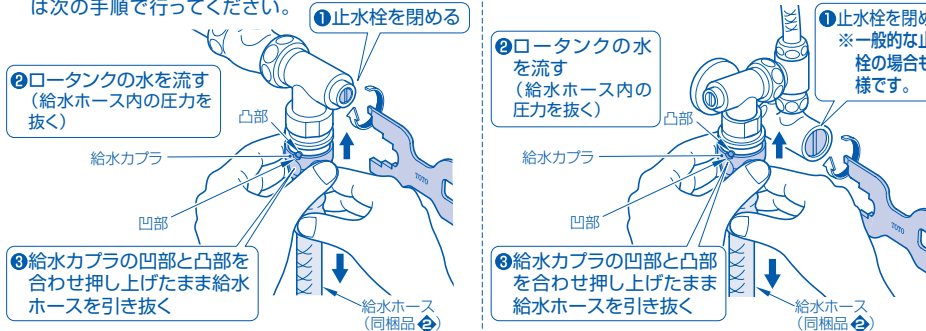
給水ホース長さ違い一覧表

給水ホース長さ (mm)	品 番	希望小売価格
1180	D24009ZRt5	¥2,000 (税込¥2,100)
1480	D24009ZRt6	¥2,300 (税込¥2,415)
1980	D24009ZRt7	¥2,800 (税込¥2,940)

●仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

給水ホースのはずしかた

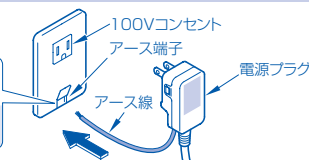
※ 分岐金具の取り付けかたで止水栓の位置が異なります。施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。



7 アース線を接続する

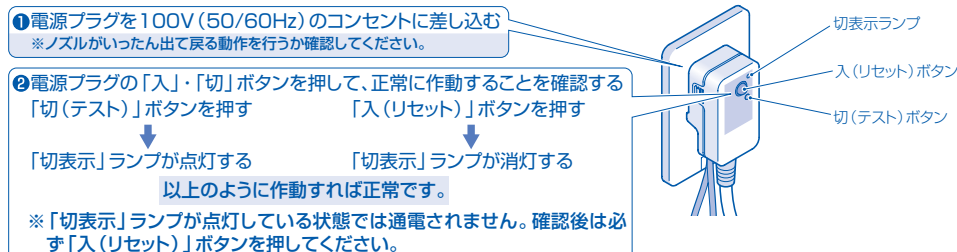
アース線を確実に取り付ける

アース線をコンセントのアース端子に接続してください。
※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



8 電源プラグを確認する

電源プラグを取り付ける



9 リモコンを取り付ける

オプションの紹介

オプション取付プレート (TCA37-1)

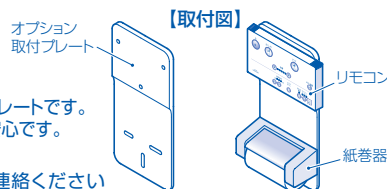
希望小売価格 ¥1,750 (税込 ¥1,838)

- 仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

現在ご使用中の紙巻器の取付穴を利用して、リモコンをセットできる取付プレートです。新しくねじ穴を開ける必要がないので壁面をいたます、引っ越しのときも安心です。

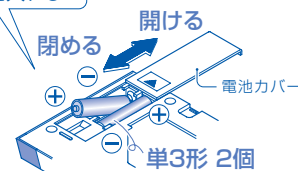
お求めはTOTOMENテナンス (株) TOTOPARTSセンター

TEL ☎ 0120-8282-55 FAX ☎ 0120-8272-99へご連絡ください



リモコンを取り付ける

- 電池カバーを開け、リモコン (同梱品) に乾電池を入れる



電池を正しくセットすると、右図のようになります。
※右図のようにならない場合は、乾電池が正しく入っていないことが考えられます。もう一度確認してください。

※リモコンの全ランプが約2秒間点灯して、その後水勢ランプは中央の位置で点滅 (約5秒に1回) します。

水勢ランプの点滅を消灯にしたいときは (P.46ページ)



- 次の確認を行ってリモコンの取付位置を決める

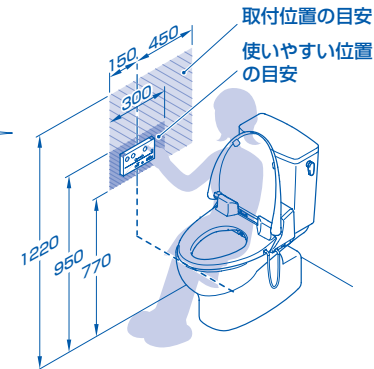
〈操作性の確認〉
便座に座った状態で操作を行い取付位置を決めてください。

〈作動の確認〉

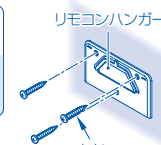
- ① を押してノズルが伸縮することを確認してください。
- ② 万一、リモコンで作動しない場合は、図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

注意

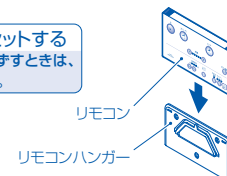
なるべくリモコンを併設する場合は、なるべくリモコンの施工説明書をご確認のうえ、取り付けてください。



- リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける
※壁の材質が石膏ボードやタイル・コンクリート壁の場合下記を参照してください。



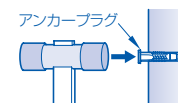
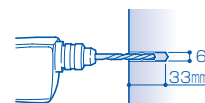
- リモコンをハンガーにセットする
※リモコンをハンガーからはずすときは、真上に引き上げてください。



【石膏ボードやタイル・コンクリート壁への取り付け】

壁の材質が石膏ボードやタイル・コンクリート壁の場合は、付属のアンカープラグを使ってリモコンハンガーを取り付けてください。

- リモコンハンガーのねじ位置に合わせ、ドリルで壁に直径6mmの下穴をあける
- ハンマーなどを使い、アンカープラグを下穴に打ち込む
- リモコンハンガーを④ドライバーで取り付ける



※石膏ボードに取り付ける際は、ねじの締め付けがはじめはかたく、いったんゆるくなって再びややかたくなります。ややかたくなるまでしっかりと締め付けてください。

乾電池について

- 乾電池はアルカリ乾電池をご使用ください。
- 乾電池の破裂や液漏れを防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 取り替えは、新しい同種のものを使用する
- 長期間使用しないときは、取り出しておく
- 充電式の電池は使用しない

電池交換を行うと、温度、タイマー節電などの設定が解除される場合があります。

- (例) …タイマー節電を「入」にしているも「切」になる) もう一度設定をやり直してください。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、図のようにお知らせします。
新しい乾電池と交換してください。
室内の広さ、壁、材質などの条件により、リモコンのスイッチを押して水勢ランプが図のようにならなくても受信できないことがあります。その場合も新しい乾電池と交換してください。

水勢
弱 中 強
リモコンのスイッチを押すと、約5秒間設定している位置のランプ (1カ所) のみ点灯、それ以外の位置のランプ (4カ所) は点滅します。

取り付けが終わったら、P.26ページご使用前の確認を必ず行ってください。

取り付けかた

ご使用前の確認

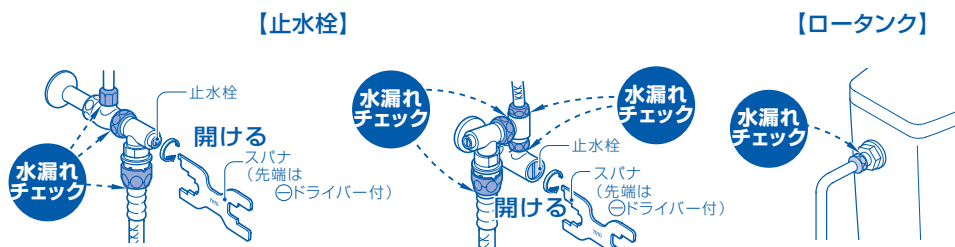
ウォシュレットを取り付け後、はじめてお使いになるときは、次の確認を行ってください。

準備

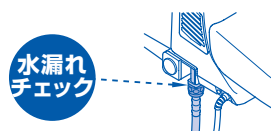
1 水漏れの点検

※ 万一水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

- ① 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
- ② 水道の元栓を開く
- ③ 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する



④ ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する



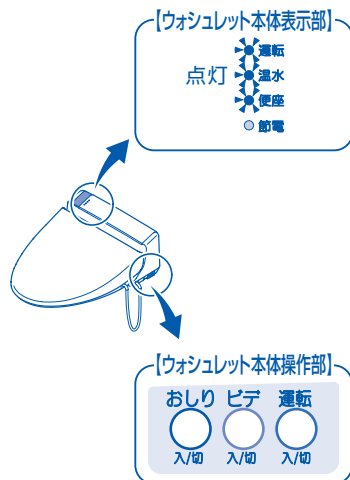
2 「ウォシュレット本体表示部」の確認

ウォシュレット本体表示部の「運転」「温水」「便座」ランプは点灯していますか？

↓
「運転」ランプが点灯していないと全機能が使用できません。（節電中は除きます。㊞34ページ）
ウォシュレット本体操作部の を押してください。（ランプが点灯します。）

アドバイス

便座・温水の「入」「切」や温度調節は、㊞30ページ「温度調節のしかた」をご覧ください。

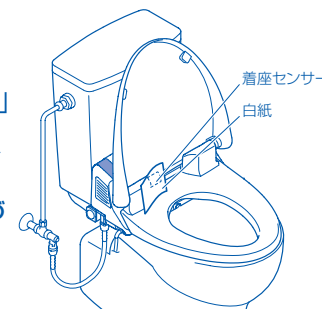


試運転

試運転時に、次のような状態になった場合は、
㊞51ページ「故障かな?!と思ったら」をご覧ください。

- 動かない㊞51ページ「全機能」
- 水が出ない㊞51ページ「全機能」「おしり洗浄・ビデ洗浄」

※ リモコンの「水勢」ランプは、 のスイッチを押すと、
設定している位置で約5秒間点灯します。
その後、設定している位置で点滅（約5秒に1回）しつづ
けます。

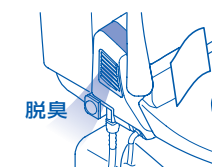


1 着座センサーを白紙でおおう

白紙でおおうと着座センサーが検知します。
（便座を閉めないで、着座センサーははたらきません。）
着座センサーについて ㊞5ページ

2 脱臭機能を確認する

ウォシュレット本体左側面の吹出口より風が出ていますか？



3 洗浄機能を確認する

- を押すとノズルから適温の温水が出ますか？
- 温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、
温水になるまで約10分かかります。
- 水勢 を押すと水勢が変化しますか？
- を押すと止まりますか？

洗浄時ノズルの根元から水が出ますが、これは機能上必要なもので異常ではありません。



4 暖房便座機能を確認する

便座があたたまるまで約15分かかります。

5 着座センサーの白紙をはずす

6 オートパワー脱臭及びパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか？
- を押すと通常の音に戻りますか？
- もう一度 を押すと脱臭音が大きくなりますか？
- 白紙をはずしてから約1分後に自動で止まりますか？

7 止水栓を閉めた後、給水フィルターに付いているゴミを水洗いして取りのぞく

アドバイス

施工時に発生したゴミが給水フィルターに詰まると、おしり・ビデ洗浄時に水勢が弱くなります。
取り付け後は必ず給水フィルターの掃除を行ってください。
詳しくは㊞43ページ「給水フィルターのお手入れ」をご覧ください。

標準的な使いかた

1 便座に座る

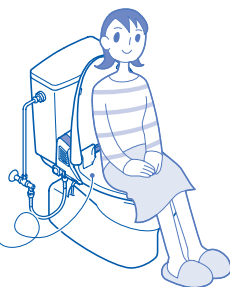
着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになります。

●脱臭が始まります。

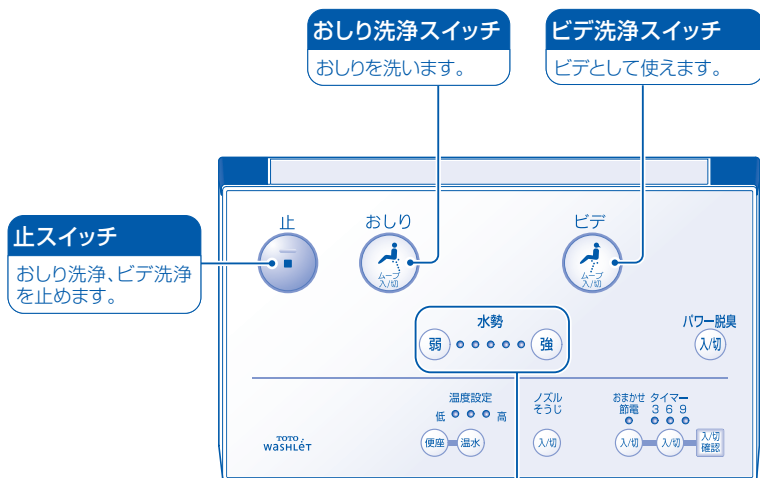
アドバイス

便座には深く腰掛けましょう！
洗浄の位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。

脱臭開始



2 洗う



快適洗浄

ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。

- 1 おしり ビデ 使用するスイッチを押す
- 2 もう一度同じスイッチを押す
ムーブ洗浄をします。
- 3 更にもう一度同じスイッチを押す
ムーブ洗浄をやめます。

水勢調節スイッチ

好みの水勢を5段階で調節できます。

※水勢ランプは のスイッチを押すと、設定している位置で、約5秒間点灯します。その後、設定している位置でランプは点滅(約5秒に1回)しつづけます。

(例) 設定している位置で点滅(5秒に1回)



設定している位置で約5秒間点灯

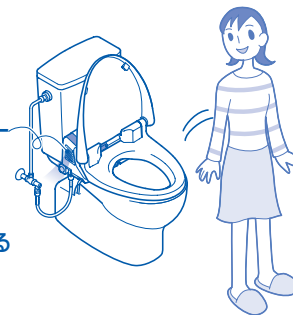
設定している位置で点滅(5秒に1回)

水勢ランプの点滅を消灯にしたいときは 46ページ

3 便座から立ち上がる

●オートパワー脱臭が始まります。
約1分後に止まります。

オートパワー
脱臭開始
↓
約1分後
自動で止まる



リモコンの電池が切れたときなど

●ウォシュレット本体操作部の または を押して洗ってください。



おしり洗浄・ ビデ洗浄について

- 局部周辺に付着した汚物や汚れを洗い流す機能です。
長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。
※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用については、医師の指示を守ってください。

知っておいて いただきたいこと

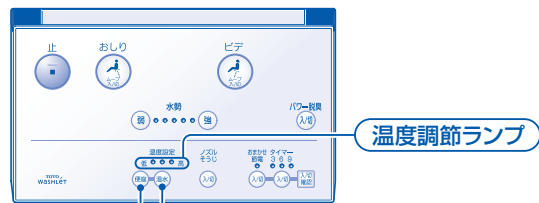
- ノズルの付近からときどき水が出ますが、これは温水タンク内の水が膨張して出てくるもので異常ではありません。
- ウォシュレットは、水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)を直接使用しています。(ロータンの水を使用することはありません。)



標準的な使いかた

温度調節のしかた

温水、便座の温度はリモコンで調節できます。好みの温度でご使用ください。



便座温度調節スイッチ

便座温度を調節できます。(3段階)

温水温度調節スイッチ

温水温度を調節できます。(3段階)

1 リモコンの温度調節スイッチを押す

アドバイス

温度調節ランプは、温水、便座の表示を共用しています。温度調節スイッチを押したときのみ、押したスイッチの温度レベルを表示します。

例:便座温度を変更する場合



現在の温度レベルで点灯する

2 お好みの温度レベルになるまで温度調節スイッチを繰り返し押す

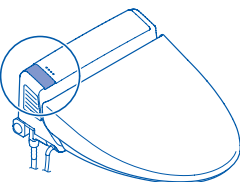
温水、便座の温度が「入」になると、ウォシュレット本体表示部の「温水」「便座」ランプが点灯します。

アドバイス

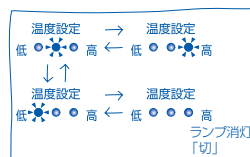
温度調節中に約5秒以上「便座」「温水」スイッチを押さない時間が続くとランプは消灯します。そのときは、もう一度スイッチを押してください。

ウォシュレット本体表示部

点灯 ● 運転
● 温水
● 便座
○ 節電



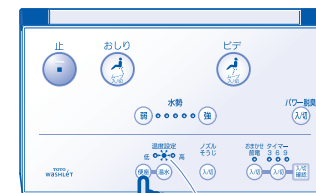
スイッチを押すごとに温度調節ランプが切り替わります



温水、便座の温度を「切」にするとき

1 リモコンの温度調節スイッチを押す

例:便座温度を「切」にする場合



現在の温度レベルで点灯する

2 温度調節ランプが消えるまで温度調節スイッチを繰り返し押す

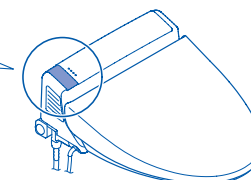
温水、便座の温度が「切」になると、ウォシュレット本体表示部の「温水」「便座」ランプが消灯します。

アドバイス

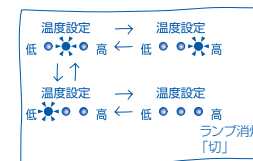
温度調節中に約5秒以上「便座」「温水」スイッチを押さない時間が続くとランプは消灯します。そのときは、もう一度スイッチを押してください。

ウォシュレット本体表示部

点灯 ● 運転
● 温水
● 便座
○ 節電



スイッチを押すごとに温度調節ランプが切り替わります



ランプが消灯するまでスイッチを繰り返し押してください

脱臭のしかた

脱臭には標準の脱臭・パワー脱臭・オートパワー脱臭の3通りがあります。

標準の脱臭・オートパワー脱臭の使いかた

便座に座ると標準の脱臭がはたらきます。

便座から立ち上がるとオートパワー脱臭がはたらいて、便器内のおいを取ります。

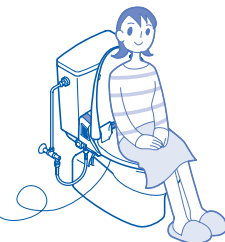
1 便座に座る

標準の脱臭を始めます。

アドバイス

はじめは、標準の脱臭は「入」に設定されています。

標準の
脱臭開始



2 便座から立ち上がる

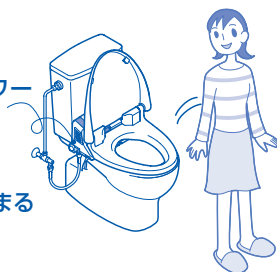
オートパワー脱臭を始めます。

約1分後に自動で止まります。

アドバイス

•はじめは、オートパワー脱臭は「入」に設定されています。

オートパワー
脱臭開始
約1分後
自動で止まる



標準の脱臭、オートパワー脱臭を使わないとき 45ページ

パワー脱臭の使いかた

便座に座って、においが気になるときに、吸い込む力をアップさせて便器内のおいを取ります。

リモコンの を押す

パワー脱臭を始めます。

アドバイス

パワー脱臭は便座に座らないとはたらきません。いったん便座に座れば、立ち上がった後も約1分間はスイッチを受け付けます。

【パワー脱臭をやめるとき】 もう一度 を押す

標準に戻ります。

アドバイス

を切らずに立ち上がった場合は、約1分後に止まります。



節電のしかた

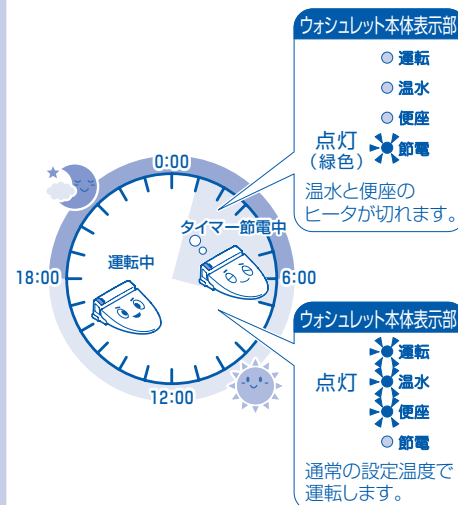
節電機能にはタイマー節電・おまかせ節電の2通りがあります。

タイマー節電とは・・・

●お客様が設定する節電です。

一度設定すると、毎日その時間に自動で節電します。タイマー節電中は温水と便座のヒータが切れます。節電時間は3・6・9時間のいずれかに設定できます。

例) 午前1時から7時まで(6時間) 節電をする場合



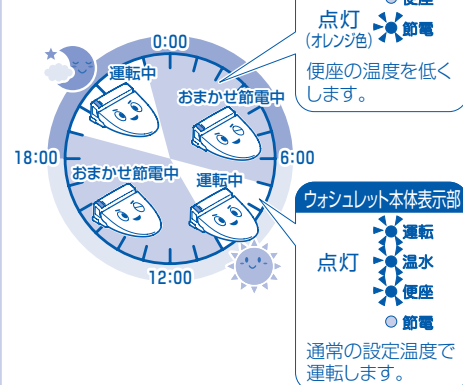
おまかせ節電とは・・・

●ウォシュレットが自動でする節電です。

トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げて(約26℃)節電します。

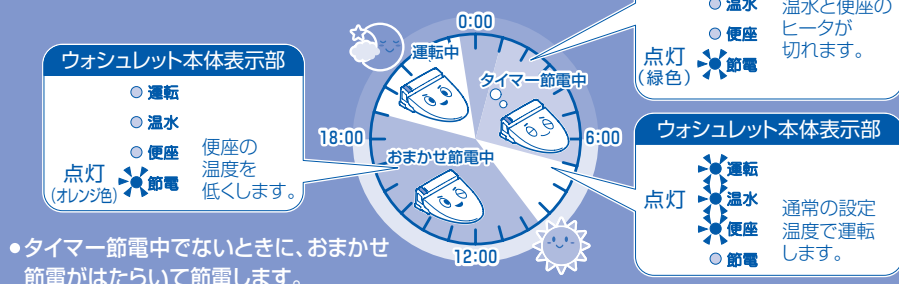
おまかせ節電をする場合

・自動で便座の温度を下げて、節電します。



タイマー節電とおまかせ節電を同時に使うことができます

両方を使ったとき、例えばこのように節電します。



●タイマー節電中でないときに、おまかせ節電がはたらいて節電します。

タイマー節電のしかた

一度設定すると、毎日その時間に自動で節電します。

例) 午前1時から7時まで(6時間) 節電をする場合

● 節電を開始したい時刻(午前1時)になったら、「タイマー」ランプ「6」が点灯するまでリモコンの「入切」を繰り返し押す

タイマー
3 6 9
入切

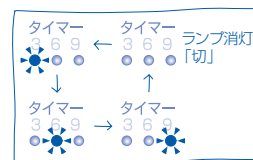
↓
設定が完了しました。
タイマー節電中はウォシュレット本体表示部の「節電」ランプ(緑色)が点灯します。

アドバイス

- タイマー節電中でも使えます。
・タイマー節電中でも便座に座れば、一時的に温水と便座のヒータが入ります。
・温水になるまで約10分かかります。
・便座があたたまるまで約15分かかります。
- タイマー節電設定中に約5秒以上「入切」を押さない時間が続くとランプは消灯します。そのときはもう一度はじめてやり直してください。



スイッチを押すごとに表示が切り替わります。



「タイマー6」のランプが点灯するまでスイッチを繰り返し押してください。



節電時間の変更

3・6・9時間のいずれかに設定を変更できます。

● 設定したい時間のランプが点灯するまで「入切」を繰り返し押す

タイマー
3 6 9
入切

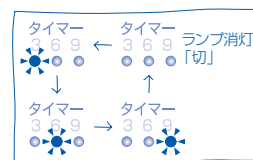
アドバイス

- 節電開始時刻を変更したいときは、いったんタイマー節電をやめてから、開始したい時刻にもう一度「入切」を押す。
- タイマー節電設定中に約5秒以上「入切」を押さない時間が続くとランプは消灯します。そのときはもう一度はじめてやり直してください。

※ 節電時間(3・6・9時間)を変更したいときは、節電を開始する時刻にもう一度設定してください。



スイッチを押すごとに表示が切り替わります。



設定したい時間のランプが点灯するまでスイッチを繰り返し押してください。

タイマー節電を使わないとき

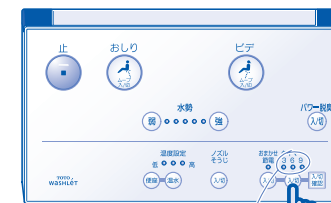
● 「タイマー」ランプが消灯するまでリモコンの「入切」を押す

タイマー
3 6 9
入切

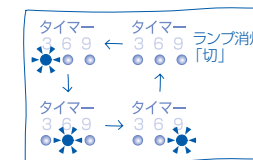
↓
節電をやめます。
ウォシュレット本体表示部の「運転」「温水」「便座」ランプが点灯します。

アドバイス

- タイマー節電設定中に約5秒以上「入切」を押さない時間が続くとランプは消灯します。そのときはもう一度はじめてやり直してください。



スイッチを押すごとに表示が切り替わります。



ランプが消灯するまでスイッチを押してください。

おまかせ節電のしかた

トイレを使用した時間帯をウォシュレットが記憶していき、あまり使用しない時間帯を見つけ、自動で便座の温度を下げて節電します。

● 「おまかせ節電」ランプが点灯するまで「入切」を繰り返し押す

おまかせ
節電
入切

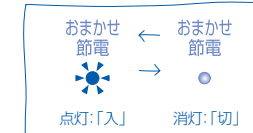
↓
自動で便座の温度を下げて、節電を始めます。
あまり使用しない時間帯になると、ウォシュレット本体表示部の「節電」ランプ(オレンジ色)が点灯します。

アドバイス

- トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで、2〜3日かかります。その間は徐々に節電していきます。
- おまかせ節電中でも使えます。
おまかせ節電中の便座温度は約26℃に設定していますが、便座に座ると一時的に暖かくなります。
- おまかせ節電設定中に約5秒以上「入切」を押さない時間が続くとランプは消灯します。そのときは、もう一度はじめてやり直してください。



スイッチを押すごとにランプが点灯・消灯と切り替わります。



ランプが点灯するまでスイッチを繰り返し押してください。



おまかせ節電を使わないとき

「おまかせ節電」ランプが消灯するまで を繰り返し押す

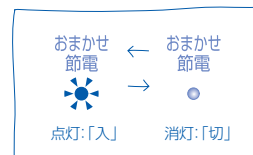
おまかせ節電をやめます。
ウォシュレット本体表示部の「運転」「温水」「便座」ランプが点灯します。

アドバイス

- おまかせ節電設定中に約5秒以上 を押さない時間が続くとランプは消灯します。そのときはもう一度はじめてからやり直してください。



スイッチを押すごとにランプが点灯・消灯と切り替わります。



ランプが消灯するまでスイッチを繰り返し押してください。

タイマー節電とおまかせ節電の両方を使うとき

スイッチを押す順番はどちらが先でもかまいません。

1 節電を開始したい時刻に、タイマー節電の設定を行う

タイマー節電のしかた (P.34ページ)

2 おまかせ節電の設定を行う

おまかせ節電のしかた (P.35ページ)

かしこく節電

- 温度調節を低めにしましょう
寒さを感じない範囲で、温度を低めに調節すると節電になります。
- 便ふたを閉めましょう
便ふたを閉めておくと便座表面の熱が逃げにくくなり節電になります。
- 長時間使用しないときは「運転入/切」スイッチを「切」にしましょう

を「切」にしておくと節電になります。

お
手
入
れ

お手入れの前に

ピカピカの便器や水栓で、イメージアップ

便器などをピカピカにしておくと、それだけで印象がワンランクアップします。

掃除をラクにするコツ

便器や便座の汚れ、結露や床にこぼれた小水などは、気がいたらサッとふきとる習慣をつけましょう。家族の協力を得て、気がついた人がその場で掃除することがポイントです。

ご注意ください！

掃除方法も使いかたを間違えると傷をつけてしまいます。下記の道具・洗剤は使用しないでください。



プラスチック(樹脂部分) ・ゴム部分	シンナー、ベンジン、クレンザー、ナイロンたわし、かわいた布、トイレペーパー
陶器部分	業務用の強酸性・強アルカリ性洗剤、研磨剤入りの洗剤、金属ブラシ、研磨剤入りナイロンたわし
金属部分	たわし、ナイロンたわし、クレンザー、みがき粉、粗い粒子を含む洗剤、シンナー、ベンジン、塩素系洗剤、強アルカリ性薬品

日常のお手入れなら道具はこれ(基本道具)



やわらかい布



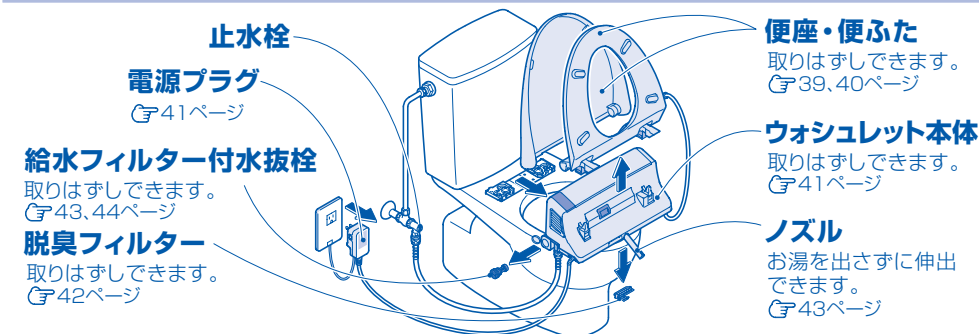
台所用洗剤(中性)

各部分を取りはずして、すみずみまでお手入れできます。

ご注意ください！

お手入れのときには必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

※「ノズルそうじスイッチ」機能を使用時は除きます。



簡
易
お
手
入
れ

お
手
入
れ
の
前
に

日常のお手入れ

いつもピカピカに保つには・・・

やわらかい布で水ぶきする

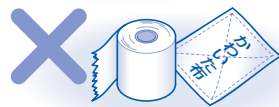
水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。

アドバイス

- 製品はプラスチックでできていますので、かわいた布やトイレペーパーなどでふかないでください。傷つきの原因になります。また、ノズル本体は汚れをはじく効果が低下します。
- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入らないよう十分に気をつけてください。洗剤がウォシュレット本体と便器のすき間に残らないようにしっかりふき取ってください。
- 着座センサー、リモコン送信部・受信部をきれいにしましょう！汚れていると各機能が作動しないことがあります。

☎5、28、51～53ページ

水でぬらした
やわらかい布を
よくしぼってふく



便器用洗剤が付着したときは・・・

やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。

便器のお手入れ

トイレ用ブラシやスポンジで水洗いしてください。

床のお手入れ

便器から飛び出した小便や器具についた露が床に落ちたときは、よくしぼったぞうきんでふき取ってください。
掃除の際、床に落ちた洗剤や水もよくしぼったぞうきんでふき取ってください。



よくしぼったぞうきんでふき取る

汚れがひどいときは・・・

うすめた台所用洗剤（中性）をふくませたやわらかい布でふき取ってください。
その後、水ぶきを行ってください。



うすめた台所用洗剤で

ご注意ください！

便器内を洗剤でお手入れするときは・・・

便器内の掃除にトイレ用洗剤及び消毒剤などを使用するときは、早目（3分以内）に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。また、便器についた洗剤は確実にふき取ってください。
（便器用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体に入り、故障の原因になります。）

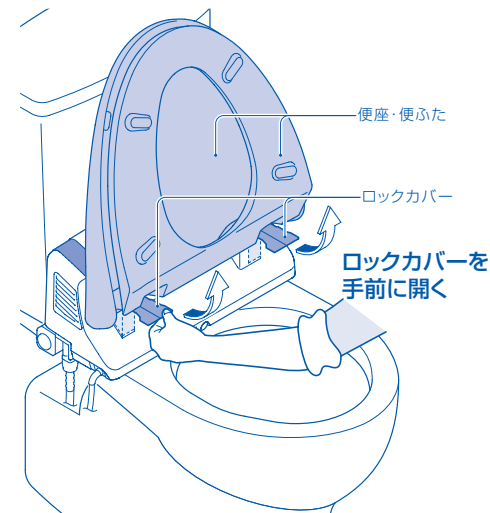
念入りなお手入れ

ウォシュレット本体、便座、便ふた

便座・便ふたが取りはずせますので、すみずみまで掃除できます。

① 電源プラグを抜く

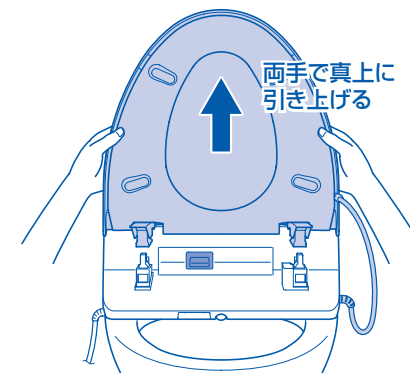
② 便座・便ふたを開けて、 左右のロックカバーを 開ける



③ 便座・便ふたを両手で 真上に引き上げる

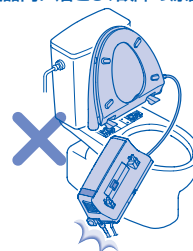
※ 便座コードははずせません。

※ 斜めに引き上げたり、無理に力を加えないでください。（破損の原因になります。）



アドバイス

- 取りはずした便座・便ふたは傷がつかないように置いてください。
- 便座・便ふたを取りはずして掃除するときは、ウォシュレット本体を取りはずさないでください。（床や便器内に落とし、故障の原因になります。）



④ ウォシュレット本体及び便座・便ふたの掃除をする

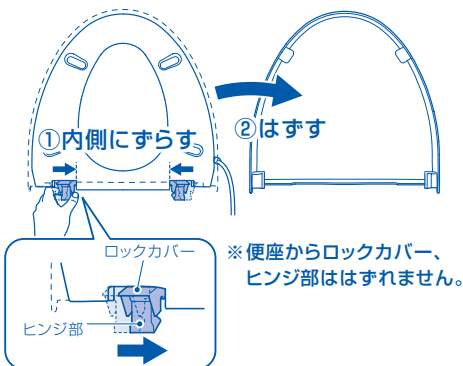
お手入れのしかたは・・・

☎38ページの「日常のお手入れ」と同じ要領で行ってください。

便座から便ふたをはずすことができます！

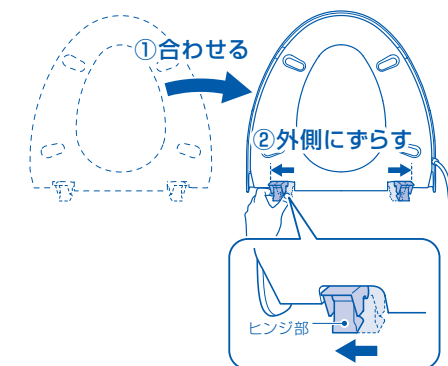
【取りはずしかた】

- ①左右のヒンジ部を内側に動かす
- ②便座と便ふたがはずれる



【取り付けかた】

- ①便ふたの上に便座を合わせる
- ②左右のヒンジ部を外側に動かす

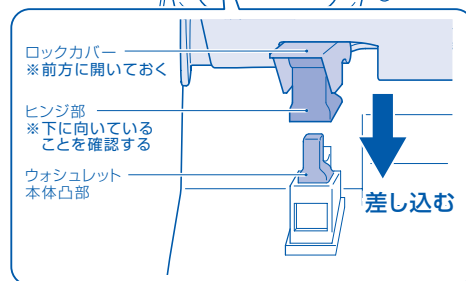
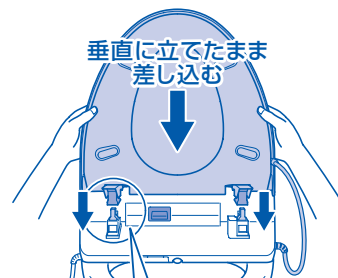


5 左右のヒンジ部をウォシュレット本体凸部に合わせて差し込む

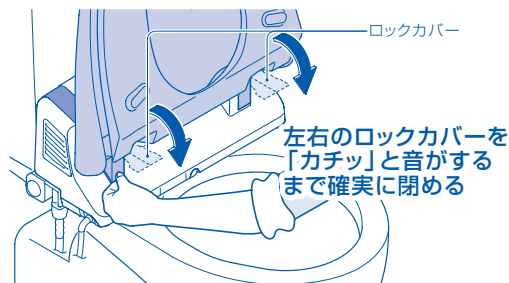
左右のヒンジ部を下に向けてください。

※便座コードを便器と便座の間にはさまないようにしてください。

※便座コードをねじったまま取り付けないでください。



6 ロックカバーを閉める



7 電源プラグを差し込む

ウォシュレット本体と便器のすき間

月に1度
お手入れ

ウォシュレット本体をはずして、便器の上面やウォシュレット本体底面も掃除できます。

1 電源プラグを抜く

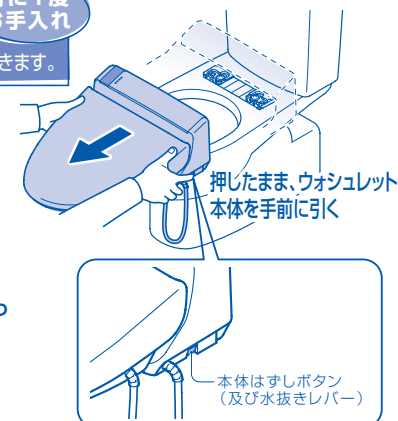
2 ウォシュレット本体を取りはずす

ウォシュレット本体右側の本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。

※給水ホース、電源コードがありますので、無理に引っ張らないでください。

アドバイス

- ウォシュレット本体をはずした状態で本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を引くと、製品内の水が出てきます。（約1.2L）
- 本体はずしボタン（及び水抜きレバー）は水抜きのとき以外は引かないでください。



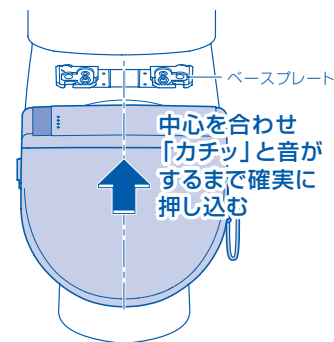
3 掃除をする

㊦38ページの「日常のお手入れ」と同じ要領で行ってください。

4 ウォシュレット本体を取り付ける

- ①ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせる
- ②便器面にウォシュレット本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



5 電源プラグを差し込む

定期的なお手入れ

電源プラグ 正常に作動することを確認してください。

月に1度
点検

1 電源プラグを抜く

2 掃除をする

電源プラグの刃などについたほこりをかわいた布で取り除いてください。

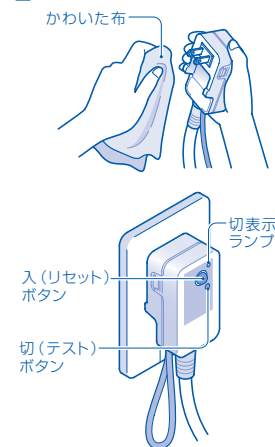
3 電源プラグを差し込む

根元まで確実に差し込んでください。

4 点検をする

- 「切（テスト）」ボタンを押す（「切表示」ランプが点灯します。）
- 「入（リセット）」ボタンを押す（「切表示」ランプが消灯します。）

※切表示が点灯しているときは通電できません。点検後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。



念入りなお手入れ／定期的なお手入れ

脱臭フィルター

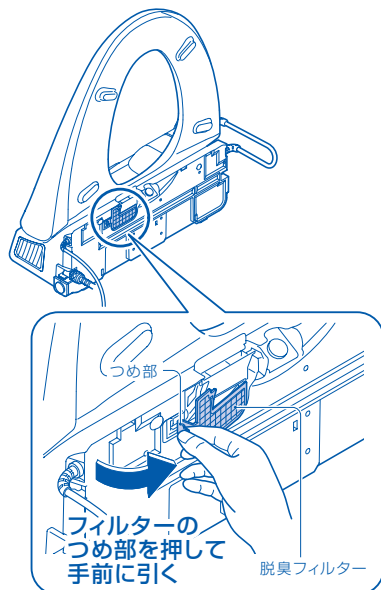
においが気になる場合は、ウォシュレット本体をはずして脱臭フィルターの掃除を行ってください。

月に1度
お手入れ

1 電源プラグを抜いてウォシュレット本体を取りはずす

ウォシュレット本体の取りはずしかたは 41 ページ

2 脱臭フィルターをはずす



3 掃除をする

アドバイス

- フィルターは水洗いできますが、取り付けの前に水気を取ってください。
- フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。

交換部品／別売品 58 ページ



4 脱臭フィルターを取り付ける

※ フィルターなしでのご使用は絶対にしないでください。(故障の原因になります。)



5 ウォシュレット本体を取り付けて電源プラグを差し込む

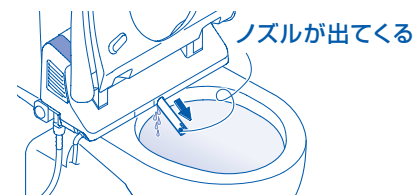
ウォシュレット本体の取り付けかたは 41 ページ

ノズル

ノズルがお湯を出さずに伸出するので掃除がラクにできます。

1 リモコンの を押し、ノズルを出す

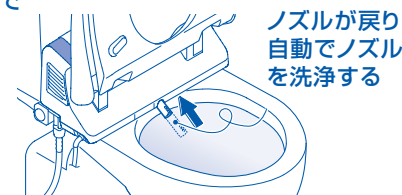
- ノズルの根元から掃除のための水が出ます。
- ノズルは約5分後に自動で戻ります。



2 掃除をする

※ ノズルを無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。(破損や故障の原因になります。)

3 を押し、ノズルを戻す

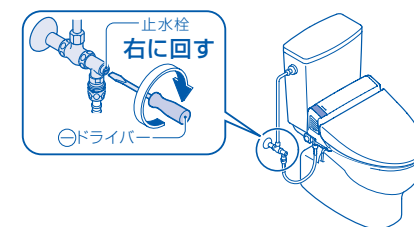


給水フィルター

洗浄の水勢が弱くなったと感じたら、給水フィルターの掃除を行ってください。

1 止水栓を閉めて給水を止める

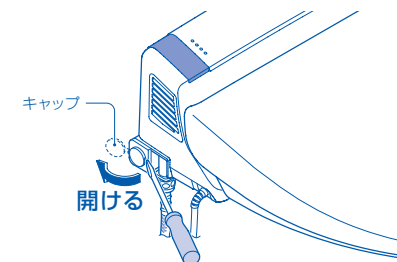
- ① 止水栓を⊖ドライバーで閉める
- ②  を押し、ノズルを伸出させた後、もう一度  を押す(給水管の圧抜きをします。)



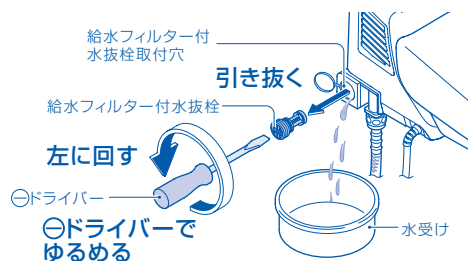
注意

止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
禁止 水が噴き出します。

2 キャップを⊖ドライバーで開ける



③ 給水フィルター付水抜栓をはずす



④ 掃除をする

※小さいゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。

※給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも、綿棒などで取り除いてください。

アドバイス

- 洗剤は使わず水洗いしてください。
- フィルターをはずしたり、破ったりしないでください。
- フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。交換部品／別売品 (P.58ページ)

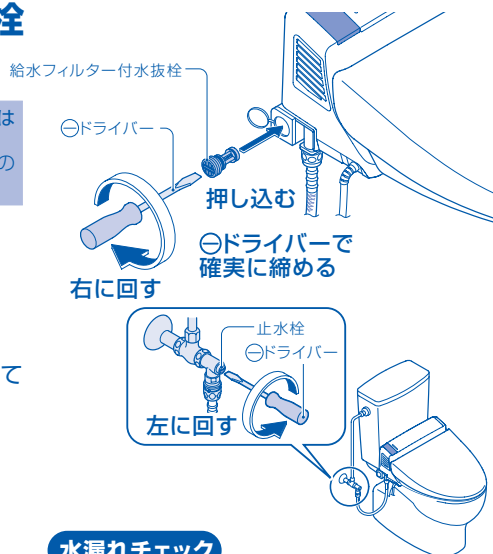


⑤ 給水フィルター付水抜栓を取り付ける



注意

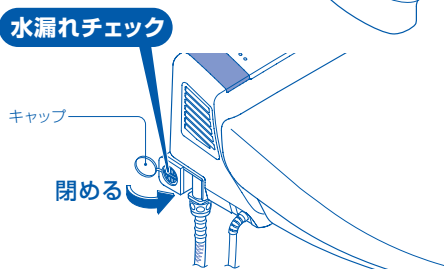
給水フィルター付水抜栓は確実に締める
確実に締めないと水漏れの原因になります。



⑥ 止水栓を開ける

※給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか、確認してください。

⑦ キャップを閉める



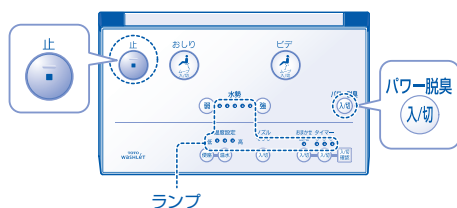
設定

設定を変えたいときは

自動で標準の脱臭をする/しない

標準の脱臭、オートパワー脱臭が自動ではたらくかどうかを変更します。

はじめの設定: する



自動で標準の脱臭をしないとき

① 止を10秒以上押す

- リモコンのランプが全点滅するまで押してください。

② パワー脱臭 入切を押す

- ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。

アドバイス

- 60秒以上スイッチを押さない時間が続いた場合は、設定モードが解除されます。もう一度はじめからやり直してください。

③ もう一度 止を押す

変更が完了しました。

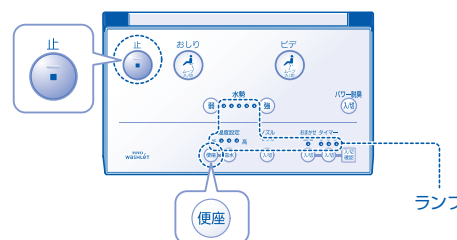
※標準の脱臭を「切」にすると、オートパワー脱臭も「切」になります。

自動で標準の脱臭をするとき

- 同じ操作を行ってください。

自動でパワー脱臭をする/しない オートパワー脱臭

はじめの設定: する



自動でパワー脱臭をしないとき

① 止を10秒以上押す

- リモコンのランプが全点滅するまで押してください。

② 便座を押す

- ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。(「入」のときは「ピッピッ」という電子音が鳴ります。)

アドバイス

- 60秒以上スイッチを押さない時間が続いた場合は、設定モードが解除されます。もう一度はじめからやり直してください。

③ もう一度 止を押す

変更が完了しました。

自動でパワー脱臭をするとき

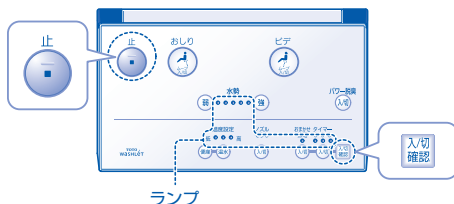
- 同じ操作を行ってください。

定期的なお手入れ

設定を変えたいときは

水勢ランプを 点滅する/消灯する(点滅しない)

はじめの設定:点滅する



① 止を10秒以上押す

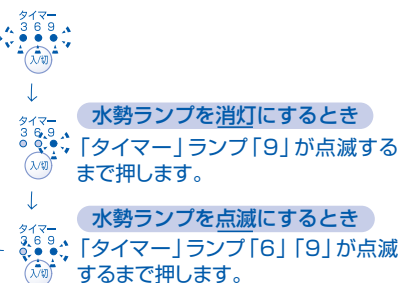
- リモコンのランプが全点滅するまで押してください。

② 入切確認を押す

アドバイス

- 60秒以上スイッチを押さない時間が続いた場合は、設定モードが解除されます。もう一度はじめからやり直してください。

- 押すたびに設定が切り替わります。設定はタイマーランプで確認できます。



③ もう一度 止を押す

変更が完了しました。

アドバイス

- 消灯のときでも、水勢の位置を確認したいときは入切確認を押すと設定している位置で約5秒間点灯します。

こんなときは

凍結による破損の予防及び 長期間使わないときの処置

凍結が予想されるとき

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ室内をあたためるか、できないときは水抜きを行ってください。

凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。

製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

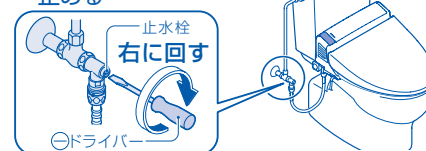
アドバイス

節電はしないでください。
凍結により製品が破損することがあります。
タイマー節電を使わないときは P.35
おまかせ節電を使わないときは P.36

水抜きのしかた

① ロータンクの水を抜く

- ① 止水栓をドライバーで閉めて、給水を止める



- ② ロータンクレバーを大洗浄側に回し、ロータンクの水を抜く

アドバイス

ロータンクの水が流れ出してしまうまで、ロータンクレバーを回したままにしてください。

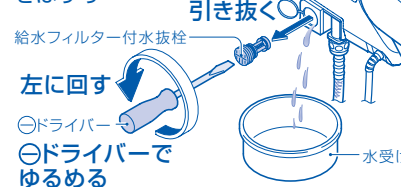


② 配管の水を抜く

- ① リモコンの 入切確認を押す
(製品内部の残水を抜きます。)
- ② キャップをドライバーで開ける



- ③ 給水フィルター付水抜栓をはずす



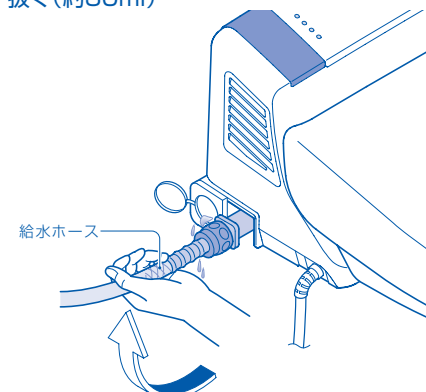
注意



禁止

止水栓を開けたままで、給水フィルター付水抜栓をはずさない
水が噴き出します。

- ④ 給水ホースを水平にして、ホース内の水を抜く(約30ml)



- ⑤ もう一度、入切確認を押す
(ノズルを元に戻します。)

設定を変えたいときは

?

凍結による破損の予防及び
長期間使わないときの処置

⑥給水フィルター付水抜栓を取り付ける

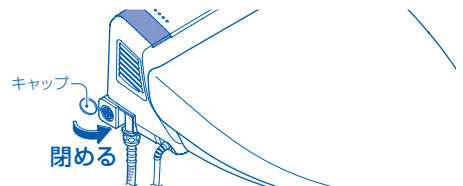


注意

給水フィルター付水抜栓は
確実に締める
確実に締めないと水漏れ
の原因になります。



⑦キャップを閉める



③ウォシュレット内を保温する

- ①ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯していることを確認し、リモコンの温水・便座温度設定を「高」にする
- ※凍結予防の作業後には、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。



長期間使わないときの処置

長期間使用しないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。
また、製品が凍結するおそれがありますので、水抜きを行ってください。

アドバイス

【水抜きをしましょう!】
・冬季に帰省されるとき
・別荘などで使用されるとき
冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。
凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

水抜きのしかた

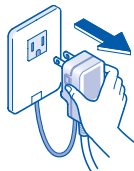
①ロータンクの水を抜く

☞47ページ

②配管の水を抜く

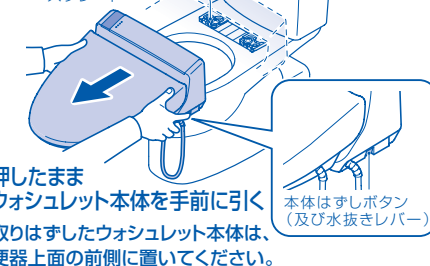
☞47ページ

③電源プラグを抜く



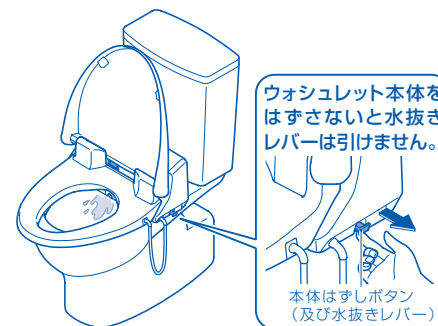
④ウォシュレット本体を取りはずす

ウォシュレット本体右側の本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。



⑤本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を引いてウォシュレット本体内の水を抜く

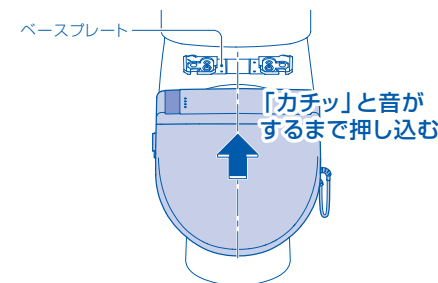
ノズルの横から水が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。



⑥本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を戻す

⑦ウォシュレット本体を取り付ける

- ①ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせる
- ②便器面にウォシュレット本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む
- ※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



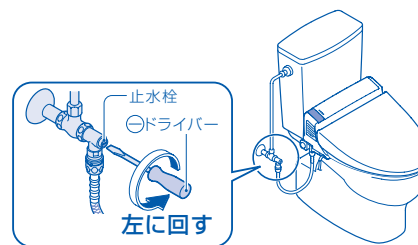
⑧便器に不凍液を入れる

水抜き後に再通水するとき

①止水栓を開ける

止水栓をドライバーで開けてください。

※配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認してください。



②電源プラグをコンセントに差し込む

③ノズルから吐水させる

着座センサーを白紙でおおい  を押してノズルから約2分間吐水させてください。

（ノズルから吐水するまでは約1分かかります。）
吐水は紙コップなどで受けてください。

アドバイス

残水が凍結して水が出ないときは、トイレ内をあたため、お湯に浸した布で給水ホース及び止水栓をあたためてください。

はじめの設定一覧

各機能の工場出荷時の設定は以下になっています。

機 能	はじめの設定	お好みで変更できる設定	参照ページ
水 勢 ラ ン プ	水勢 弱 ○ ● ● ● ● 強 中央の位置で約5秒に1回点滅	「点滅」→「消灯」に変更できます。	28、46
温 水 温 度	低 ○ ● ● ● 高	温度設定 低 ● ● ● ● 高 （便座）（温水） スイッチで、温度の調節ができます。	30、31
便 座 温 度	低 ○ ● ● ● 高		
脱臭（標準の脱臭）	入	標準の脱臭の「入」「切」を設定できます。	32、45
オートパワー脱臭	入	オートパワー脱臭の「入」「切」を設定できます。	32、45
パ ワ ー 脱 臭	切	パワー脱臭の「入」「切」を設定できます。	32
タイマー節電	切	タイマー節電の「入」「切」を設定できます。 節電時間を変更できます。	34、35 34
おまかせ節電	切	おまかせ節電の「入」「切」を設定できます。	35、36

故障かな?!と思ったら

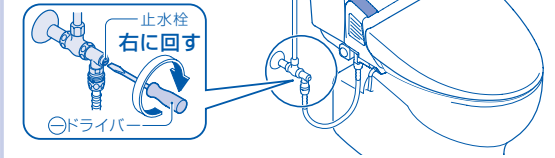
故障かな?!と思ったらまずこの章をご覧ください、処置方法をためてみてください。

それでも直らないときは、販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご相談ください。

修理を依頼される前に
次のことを確認してください。



水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める



全機能

現象	確認（原因）	処置
全く動かない	停電したりブレーカが切れていませんか。	停電が復帰するまでお待ちください。また、ブレーカを「入」にしてください。
	電源プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入（リセット）」ボタンを押してください。☞41ページ
	ウォシュレット本体表示部のすべてのランプが消灯していませんか。	ウォシュレット本体操作部の ^⑤ を押してください。☞26ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずして、もう一度ベースプレートにセットし直してください。☞41ページ

おしり洗浄・ビデ洗浄

現象	確認（原因）	処置
洗浄水が出ない	断水していませんか。	^① を押し、断水が解除するまでお待ちください。
	止水栓が閉まっていますか。	止水栓を開けてください。☞26ページ
	給水カプラにプラグがきちんと差し込まれていますか？	止水栓を閉めてから、プラグをきちんと差し込み直してください。☞23ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☞53ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずして、もう一度ベースプレートにセットし直してください。☞41ページ
洗浄水勢が弱い	水勢の設定が弱くなっていますか。	リモコンの「水勢」スイッチの ^③ を押してください。☞28ページ
	給水フィルターが詰まっていますか。	給水フィルターを掃除してください。☞43ページ
洗浄水が冷たい	温水温度の設定が「切」、または低くなっていますか。	リモコンの ^④ で調節してください。☞30ページ
	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座ってから約10分お待ちください。☞34ページ
洗浄水が途中で止まった	^① または ^② を押してから約5分後に自動で止まります。	もう一度 ^① または ^② を押してください。☞28ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☞53ページ

暖房便座		
現象	確認（原因）	処置
便座があたたかくならない	便座ヒータが「切」、または便座温度の設定が低くなっていますか。	リモコンの  で調節してください。 ㊦30ページ
	タイマー節電中になっていませんか。	便座に座るとヒータが入り、約15分であたたかくなります。 ㊦34ページ
	おまかせ節電中になっていませんか。	便座に座ると一時的にあたたかくなります。 ㊦35ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ㊦53ページ
便座が冷たくなった	便座に座ってから約1時間後に自動で便座ヒータが切れます。便座から離れると自動で便座ヒータが入ります。	—

脱臭		
現象	確認（原因）	処置
便座から立ち上がると脱臭の音が大きくなる	はじめは、オートパワー脱臭が「入」になっています。オートパワー脱臭は便座から立ち上がると、吸い込む力をアップさせて脱臭するように設定されています。	—
脱臭が作動しない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ㊦53ページ
	ウォシュレット本体がベースプレートからはずれていませんか。	ウォシュレット本体を一度はずして、もう一度ベースプレートにセットし直してください。 ㊦41ページ
あまりにおいがとれないときがあるまたは異臭がする	脱臭フィルターが詰まっていますか。	脱臭フィルターを掃除してください。 ㊦42ページ 脱臭フィルターの掃除をしてもにおいが気になる場合は、脱臭カートリッジの交換をおすすめします。 ㊦55ページ
	市販の芳香剤や消臭剤などを置いていませんか。	市販の芳香剤や消臭剤などを使用すると、ウォシュレットの脱臭効果が低下したり異臭がする場合があります。
	次のような場合、着座センサーが検知して、脱臭が作動することがあります。故障ではありません。 ●掃除のとき ●ロータンクレバーを操作したとき など	—

節電機能		
現象	確認（原因）	処置
おまかせ節電のスイッチを入れても節電しない	トイレをあまり使用しない時間帯を見つけるまで2～3日かかります。	—
	同じ時間帯に週3回程度お使いになると節電しないことがあります。故障ではありません。	—
正しい時間に節電しない	電源プラグを抜いたり、停電していませんか。	その日は正常にはたらかない場合がありますが、翌日からは通常通りにはたらくようになります。
	電源プラグを抜いたり、停電したときにリモコンの電池交換をしませんでしたか。（設定時間がずれることがあります。）	リモコンの  または  を押して、もう一度設定しなおしてください。徐々に正しい時間に節電し直します。 ㊦34～36ページ
節電しなくなった	リモコンの電池交換をしませんでしたか。（設定が消えることがあります。）	リモコンの  または  を押して、もう一度設定し直してください。 ㊦34～36ページ

ソフト閉止		
現象	確認（原因）	処置
便座・便ふたカバーをつけると閉まりかたが速くなった	カバーの重さで少し速くなります。故障ではありません。	—
夏と冬で閉まる速さが変わった	室温変化や使用頻度によって少し速さが変わります。故障ではありません。	—

リモコン		
現象	確認（原因）	処置
リモコンで操作できない	乾電池の  の方向をまちがえていませんか。	乾電池を正しく入れてください。 ㊦25ページ
	リモコン送信部・受信部が何かでおおわれていますか。	ぞうきんなどおおっているものを取り除いてください。
	リモコン送信部・受信部にゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。 ㊦53ページ
	リモコンのスイッチを押したとき、リモコンの水勢ランプが約5秒間点滅（設定している位置のランプのみ点灯）していませんか。この場合は乾電池が消耗しています。	新しい乾電池に交換してください。 ㊦25ページ
リモコンの電池を取り替えた後、便座温度、タイマー節電などの設定が変わった	電池を取り替えると設定が解除されることがあります。（例…タイマー節電を「入」にしているも「切」になる）	もう一度設定をやり直してください。
水勢ランプが1カ所のみ点滅している	水勢ランプは、設定している位置を点滅（約5秒に1回）してお知らせします。詳しくは ㊦28ページ をご覧ください。	—
水勢ランプ全て（5カ所）が点灯または点滅する	リモコンのスイッチを押したとき、リモコンの水勢ランプが約5秒間点滅（設定している位置のランプのみ点灯）していませんか。この場合は乾電池が消耗しています。	新しい乾電池に交換してください。 ㊦25ページ

着座センサー		
現象	確認（原因）	処置
便座に座っていないのに、スイッチを押すとおしり洗浄や脱臭などが作動する	着座センサーがおおわれていますか。	着座センサーをおおわないようにしてください。 ㊦5ページ
	着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座に座っているのに、おしり洗浄や脱臭などが作動しない	座りかた、服の色、布地によって着座センサーが検知しにくいことがあります。	便座に深く腰掛けたり、衣服を少し持ち上げ肌を検知するようにしてお使いください。
	衣服で着座センサーがおおわれていますか。着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	衣服またはゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座が冷たいおしり洗浄などが作動しない	市販品の便座・便ふたカバーを取り付けていませんか。 市販品の便座・便ふたカバーを取り付けると着座センサーが長時間検知したままとなり便座ヒータやおしり洗浄などが作動しなくなります。	市販のカバーをはずしてください。

故障かな？と思ったら



その他		
現象	確認（原因）	処置
ウォシュレット本体がガタつく	ウォシュレット本体を固定しているベースプレートのボルトがゆるんでいませんか。	ベースプレートのボルトをしっかり締め直してください。
配管接続部から水漏れしている	接続ナットがゆるんでいませんか。	モンキーレンチで増し締めしてください。
タンクに水が給水されない	ボールタップ本体が傾いて浮玉がタンク壁などに当たっていませんか。	浮玉が当たらないようにボールタップ本体を取り付け直してください。 ☞ 14、17、19ページ

こんなときは

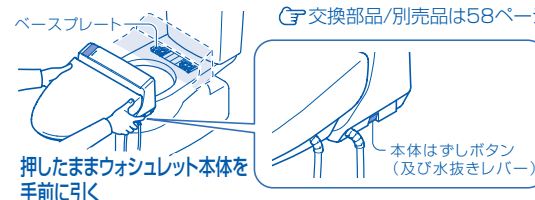
脱臭カートリッジの取り替えかた

脱臭フィルターを掃除しても、まだにおいが気になる場合は、脱臭カートリッジの交換をおすすめします。

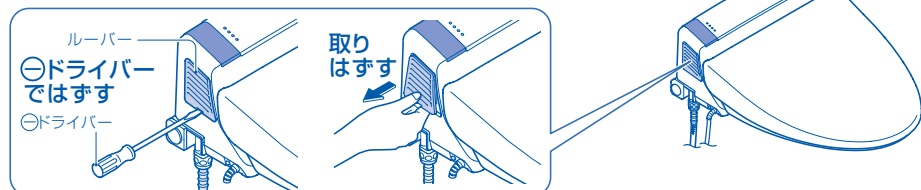
☞ 交換部品/別売品は58ページ

1 ウォシュレット本体を取りはずす

ウォシュレット本体右側の本体はずしボタン（及び水抜きレバー）を押したまま、ウォシュレット本体を手前に引いてください。



2 ウォシュレット本体左側のルーバーをはずす

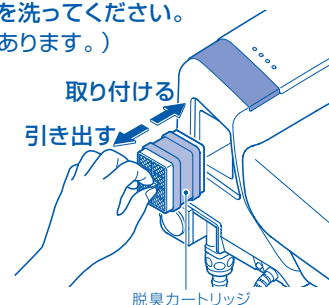


3 脱臭カートリッジの突起をつまんで引き出す

※脱臭カートリッジの黒粉が手に付いた場合は、すぐに手を洗ってください。
（皮膚や目などに接触した場合、炎症を起こすおそれがあります。）

4 新しい脱臭カートリッジを右図のように取り付ける

※脱臭カートリッジは確実に奥まで押し込んでください。



5 ルーバーを取り付ける

①ルーバーの突起をウォシュレット本体に差し込む

②「カチッ」と音がするまでルーバーを押し込む

※ルーバーを2～3カ所押さえて取り付けてください。

ルーバーがウォシュレット本体より出ていないことを確認してください。

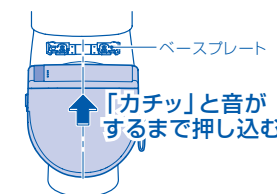


6 ウォシュレット本体を取り付ける

①ウォシュレット本体中心とベースプレートの中心を合わせる

②便器面にウォシュレット本体をすべらせて、「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む

※ウォシュレット本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



故障かな?と思ったら／脱臭カートリッジの取り替えかた

?

アフターサービス

修理を依頼される前に、「故障かな?!」と思ったら」の項をご確認ください。

保証書

- 必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から10年です。

補修用性能部品の最低保有期間

ウォシュレットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

部品交換について

無料修理により取りはずされた部品・製品はTOTO（株）の所有となります。

保証期間経過後 修理を依頼されるとき

お求めの販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度説明書をよくお読みいただき確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めの販売店またはTOTOメンテナンス（株）修理受付センターに修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名
品番（TCF356）
お買い上げ日 保証書をご覧ください。
- 訪問ご希望日

【お客様の個人情報のお取り扱い】
お客様からお預りした個人情報は関連法令及び社内諸規定に基づき、慎重かつ適切にお取り扱いします。
詳しくはTOTOホームページ
<http://www.toto.co.jp/>をご覧ください。

定期点検のおすすめ（有料）

- 逆流防止装置（バキュームブレーカー、Oリング）は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。（水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。）
- 機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。なお、点検はTOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご依頼ください。

- 定期点検を行った日付を記入しておきましょう！

	日付
お買い上げ日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

お問い合わせ先

安心・信頼の
TOTOメンテナンス（株）
修理受付センター

ホームページ <http://www.tom-net.jp/>

TEL ☎0120-1010-05

FAX ☎0120-1010-02

受付：年中無休／受付時間 8:00～19:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）／営業時間 9:00～18:00
※携帯電話（PHSは除く）からのご利用は …… ☎0570-05-1010（有料）へ

修理料金のしくみ【TOTOメンテナンス（株）修理受付センターにご依頼の場合】

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** で構成されています。

商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に使用した部品代です。

診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

仕様

項目		内容
定 格	電 源	交流100V 50/60Hz
定 格	消 費 電 力	417W
区 分	※1	貯湯式
年 間	消 費 電 力 ※2	183kWh (243kWh)
電 源	コ ー ド 長 さ	1.0m (漏電保護プラグ、アース線付)
洗 浄 装 置	吐水量	おしり洗浄 約0.35～0.90L/min (水圧0.2MPaのとき) ビデ洗浄 約0.45～1.00L/min (水圧0.2MPaのとき)
	吐 水 温 度	温度調節範囲 切、約30～40℃
	ヒ ー タ 容 量	350W
	タ ン ク 容 量	1.14L
	安 全 装 置	温度ヒューズ、温度過昇防止器、空焚き防止フロートスイッチ
逆 流 防 止 装 置		バキュームブレーカー、逆止弁
暖 房 便 座	表 面 温 度	温度調節範囲 切、約28～35℃ (おまかせ節電時 約26℃)
	ヒ ー タ 容 量	50W
	安 全 装 置	温度ヒューズ
脱 臭 装 置	方 式	O ₂ 脱臭
	風 量	標準モード:0.09m ³ /min パワーモード:0.16m ³ /min以上
給 水 圧 力		最低必要水圧:0.05MPa (流動圧) 最高水圧:0.75MPa (静水圧)
給 水 温 度		0～35℃
周 囲 使 用 温 度		0～40℃
製 品 寸 法		幅425mm、奥行535mm、高さ180mm
製 品 質 量		4.9kg

※1 省エネ法（2012年度基準）の区分

※2 省エネ法（2012年度基準）に基づいた測定値

() 内は、タイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量

※この製品は、日本国内専用製品です。

抗 菌 （※抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接接触しないと発揮されません。）

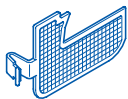
抗 菌 効 果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。		
抗 菌 加 工 部 位	暖房便座、便ふた、ノズルヘッド、リモコン（スイッチ）	禁 止 事 項	酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
抗 菌 剤 の 種 類	無機系（銀）		
抗 菌 性 能 持 続 性	(社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認	取 扱 注 意 事 項	抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。
安 全 性	(社)日本建材・住宅設備産業協会基準により確認		

交換部品/別売品

仕様・品番・希望小売価格などは予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

交換部品

脱臭フィルター (品番:D45339R)



【希望小売価格¥30(税込¥32)】

給水フィルター付 水抜栓 (品番:D43409Z)



【希望小売価格¥325(税込¥341)】

便座クッション (品番:D57045-1R)



【希望小売価格¥30(税込¥32)】

便ふたクッション (品番:D42165R)



【希望小売価格¥25(税込¥26)】

脱臭カートリッジ (品番:TCA83-3R)



【希望小売価格¥1,200(税込¥1,260)】

別売品

らくらくリモコン

※標準リモコンとの併設が必要です。(寸法:幅220mm 奥行25mm 高さ84mm)

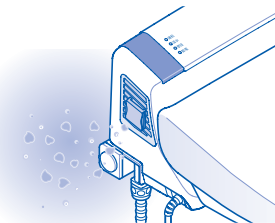
(TCA56)



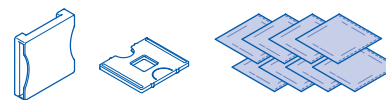
【希望小売価格¥7,500(税込¥7,875)】

フレグランスセット

芳香剤を置かなくても、トイレを使うときだけ自動でほのかに香ります。ケースを脱臭排気口に取り付けて、フレグランスオイルシートを入れたトレイを差し込みます。



フレグランス後付けキット



セット内容	ケース 1個 トレイ 1個 フレグランスオイルシート 8枚
品 番	野ばら...TCA167 真 綿...TCA168 古 都...TCA169 風 鈴...TCA170 野ばら・真綿・古都・風鈴(各2枚)...TCA171
希望小売価格	¥1,800(税込¥1,890)

フレグランス補充キット

フレグランスオイルシートの取替セットです。必ず、専用のフレグランスオイルシートをお求めください。



後付けキットをご使用の方はこのトレイは使用しません。

セット内容	トレイ 各1個 (フレグランス後付けキット用・オートフレグランス機能付用) フレグランスオイルシート 8枚
品 番	野ばら...TCA110R 真 綿...TCA111R 古 都...TCA112R 風 鈴...TCA113R 野ばら・真綿・古都・風鈴(各2枚)...TCA114R
希望小売価格	¥1,800(税込¥1,890)

フレグランストレー



品 番	D42318
希望小売価格	¥110(税込¥116)

商品のお問い合わせは
TOTO(株) お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010
FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間: 9:00~17:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

※携帯電話・PHSからのご利用は...093-951-2526(有料)へ
インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

交換部品/別売品のご購入は
TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55
FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間: 平日 9:00~18:00
土・日・祝日 10:00~18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

※携帯電話・PHSからのご利用は...093-952-8682(有料)へ

重大事故防止のためのお願い

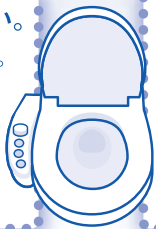
温水洗浄便座は電気製品です

～多くのお客さまが電気製品としての取り扱い、寿命を意識されていません～

故障したままのご使用や長年のご使用は、電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

故障したまま使わないでください。

火災や感電、室内浸水の原因になります。
異常に気づいたら、すぐに電源プラグを
抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、
販売店またはメーカーへご連絡ください。



定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、定期的な
点検をおすすめします。
また、長期間（10年以上）ご使用の温水
洗浄便座は買い替えをご検討ください。
使い勝手、機能性、省エネ性能も向上して
います。販売店またはメーカーにご連絡く
ださい。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

便座や本体に小水や洗剤をかけ
ないでください。故障や火災の原因
になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わ
ないでください。内部の電気部品
や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除い
てください。トラッキング[※]現象
で火災の原因になります。

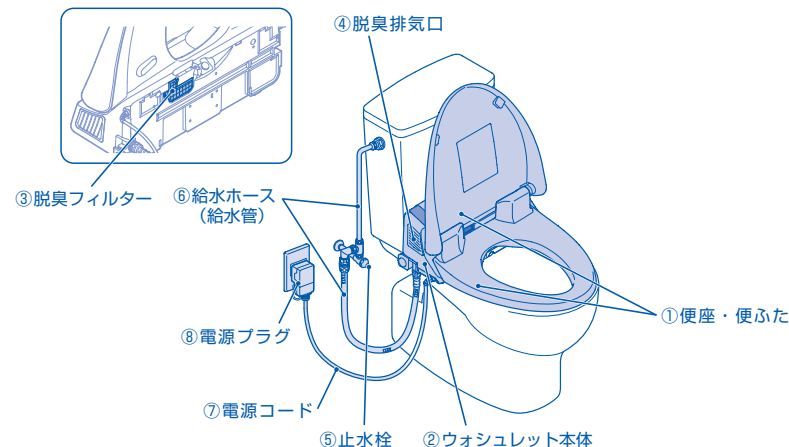
※トラッキングとは・・・電源プラグにたまったほこりと温気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化する。トラッキング（電気の道）ができる。トラッキングの起きた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

一般社団法人 温水洗浄便座工業会 <http://www.sanitary-net.com> 後援 経済産業省

こんなときは

定期的な点検

製品の長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じるおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品をより長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様自身による以下の点検を実施いただきますようお願いいたします。



点検項目	点検部位 (商品図を参照)	具体的事象 (危害情報等)	点検目安	実施日（年/月/日）			
ひび割れ・欠け・ガタツキ・ 変色がありませんか？	便座・便ふた・ ウォシュレット本体	① ケガ、火災、 感電など	年1回以上	/	/	/	/
				/	/	/	/
傷み・はさみ込み・ つぶれ・折れ曲がりか ありませんか？	止水栓・ 給水ホース（給水管）・ 電源コード	⑤ 火災、感電、 水漏れなど	年1回以上	/	/	/	/
				/	/	/	/
電源プラグに 接触していませんか？	給水ホース（給水管）	⑥ 火災、感電など	年1回以上	/	/	/	/
				/	/	/	/
異常に熱かったり、 異常音・異臭が ありませんか？	便座・ウォシュレット 本体・電源コード・ 電源プラグ	① やけど、火災、 感電、水漏れなど	年1回以上	/	/	/	/
				/	/	/	/
正常に作動して いますか？ （洗浄・脱臭など）	便座・便ふた・ ウォシュレット本体	① ケガ、火災、 水漏れなど	年1回以上	/	/	/	/
				/	/	/	/
ほこり付着が ありませんか？	脱臭フィルター・ 脱臭排気口・ 電源プラグ	③ やけど、 火災など	月1回	/	/	/	/
				/	/	/	/
				/	/	/	/
				/	/	/	/
水漏れが ありませんか？	ウォシュレット本体・ 止水栓・ 給水ホース（給水管）	② 感電、水漏れなど	年1回以上	/	/	/	/
				/	/	/	/

<お客様へ> ご愛用者登録のお願い

末永くご愛用いただくためにお客様情報の登録をお願いいたします。

ご登録いただいたお客様情報は製品安全に関する大切なお知らせや、暮らしに役立つ情報（新商品・イベントなどのご案内）の提供に、利用させていただきます。
なお、お客様の個人情報は当社プライバシーポリシーに基づいて適切に管理、取り扱いさせていただきます。詳細はTOTO ホームページをご覧ください。※登録方法は、以下の中から、1つお選びください。

携帯電話での登録

QRコード対応の携帯電話をお持ちの方は、商品にはり付けていますQRコードからアクセスしていただき、画面の案内に従って登録してください。

※携帯電話の通信料はお客様負担となります。
※複数台登録が可能です。画面に従って登録してください。

※機種によりQRコードのはり付け位置が異なります。
※照明の明るさによって読み取りにくい場合があります。
明るい時間帯での読み取りやQRラベルに携帯のライト等を当てることによって読み取りやすくなります。



インターネットでの登録

TOTOホームページにアクセスし、アフターサポートメニューの「製品のご登録」より画面の案内に従って登録してください。

※複数台登録が可能です。画面に従って登録してください。

登録に関するお問い合わせは、下記へお願いします。

TOTO（株）ご愛用者登録相談室 TEL ☎ 0120-55-1172
受付時間：平日 9:00～17:00（土・日・祝日・夏期休暇、年末年始を除く）

TOTO ホームページ <http://www.toto.co.jp/>

定期的な点検



MEMO

Lined area for writing on page 62.

MEMO

Lined area for writing on page 63.